

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.3図 A、B 2次深純水タンクからNo. 3 深純水タンクへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-6 図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図 1.13-7 図 海水水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側A-1））</p> <p>図 1.13-8 図 海水水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

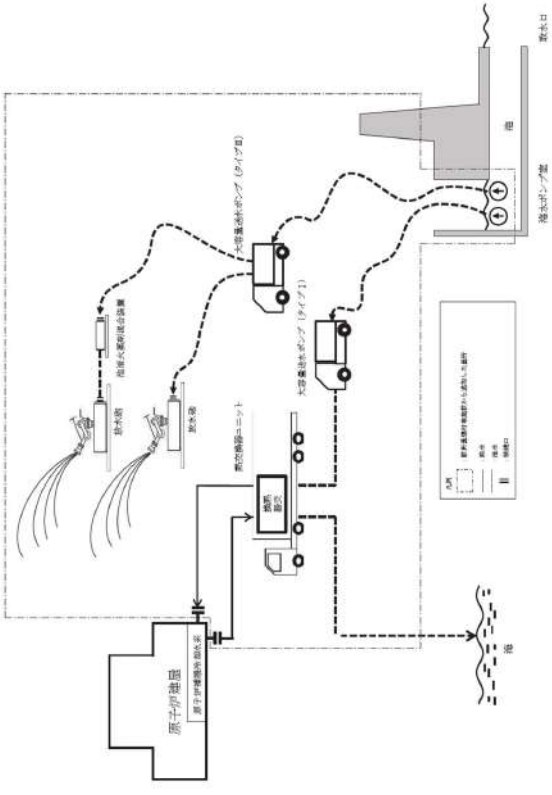
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.13-9 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-10図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">超過時間 (時間)</p> <p>※1：大容量送水ポンプ(タイプ1)及びホースの設置場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び4保管エリア、第3保管エリア及び4保管エリア、第4保管エリア、ホース送水用取車の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び4保管エリア          ※2：取付時作業所から第1保管エリアまでの移動も想定した移動時間と余裕を見込んだ時間          ※3：大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働も想定した移動時間と余裕を見込んだ時間          ※4：ホースの敷設準備を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間          ※5：大容量送水ポンプ(タイプ1)の移動準備を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間          ※6：大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働準備を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間          ※7：熱交換機ユニットの設計を考慮した作業時間と余裕を見込んだ時間</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13-11 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水 (各種供給) タイムチャート (1/2) (取水口から海水を取水する場合 (山側ルート))</p>	<p style="text-align: center;">【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

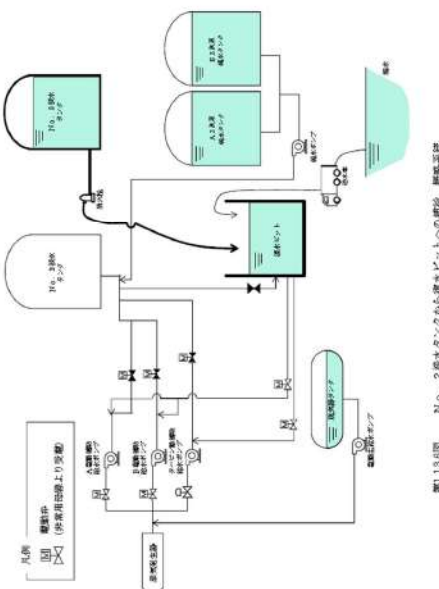
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第 1.13-12 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>※1：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びボースの設置場所は第1保管エリア、第2保管エリア、第3保管エリア及び4号保管エリア、第5保管エリア及び6号保管エリアから第3保管エリアまでの各動を想定した稼働時間に見込んだ時間          ※2：緊急時稼働時の稼働場所は第3保管エリア、第5保管エリア及び4号保管エリア          ※3：設計仕様を考慮して想定した稼働時間に見込んだ時間          ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、第1保管エリアから取水口までを想定した稼働時間と大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、第1保管エリアから取水口までを想定した稼働時間に見込んだ時間          ※6：ボースの稼働時間を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※7：ボースの稼働時間を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※8：緊急時稼働時の稼働場所は第1保管エリア、第2保管エリア、第3保管エリア及び4号保管エリア、第5保管エリア及び6号保管エリア及び</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>凡例  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○</span> 設備  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">×</span> 非常用設備より取配</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>第11.8.6図 No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給 補給系統</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員 (名)</th> <th>所要時間 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給</td> <td>緊急安全弁要員</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>運転員</td> <td>約45分</td> </tr> <tr> <td>監視員(2名) 監視員(2名) 監視員(2名)</td> <td>約45分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 所要時間は、同様の要員配置で想定される。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>第11.8.7図 No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	要員 (名)	所要時間 (分)	No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給	緊急安全弁要員	3	運転員	約45分	監視員(2名) 監視員(2名) 監視員(2名)	約45分		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>
手順の項目	要員 (名)	所要時間 (分)											
No. 2取水タンクから復水ベクトへの補給	緊急安全弁要員	3											
	運転員	約45分											
	監視員(2名) 監視員(2名) 監視員(2名)	約45分											

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 640 1241" style="border: 2px solid black; height: 560px; width: 238px;"></div> <div data-bbox="651 352 680 922" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 10px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="689 448 719 1150" style="margin-left: 10px;">                     第1.13.8図 No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート                 </div>		<div data-bbox="1435 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         大飯3/4号炉との比較対象なし                     </div>	<div data-bbox="2013 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                         【大飯】 設備の相違（相違理由③）                     </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.27図 後水ビットから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">第1.13-13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ車(タイプ1)による後水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>□</td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>△</td> <td>ツインパワー弁</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>可搬型ホース</td> </tr> <tr> <td>+</td> <td>+</td> <td>接続口</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>---</td> <td>設計基準事故対応設備から追加した箇所</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>0.1t車側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビット→燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑦：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	凡例	記号	説明	○	○	手動弁	□	□	電動弁	△	△	ツインパワー弁	■	■	逆止弁	---	---	可搬型ホース	+	+	接続口	---	---	設計基準事故対応設備から追加した箇所	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	0.1t車側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開	④	補助給水ビット→燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開	⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全開→全開	⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】                  設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>
凡例	記号	説明																																																	
○	○	手動弁																																																	
□	□	電動弁																																																	
△	△	ツインパワー弁																																																	
■	■	逆止弁																																																	
---	---	可搬型ホース																																																	
+	+	接続口																																																	
---	---	設計基準事故対応設備から追加した箇所																																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																	
①	可搬型ホース	ホース接続																																																	
②	可搬型ホース	ホース接続																																																	
③	0.1t車側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																	
④	補助給水ビット→燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																	
⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全開→全開																																																	
⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																	
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																																	

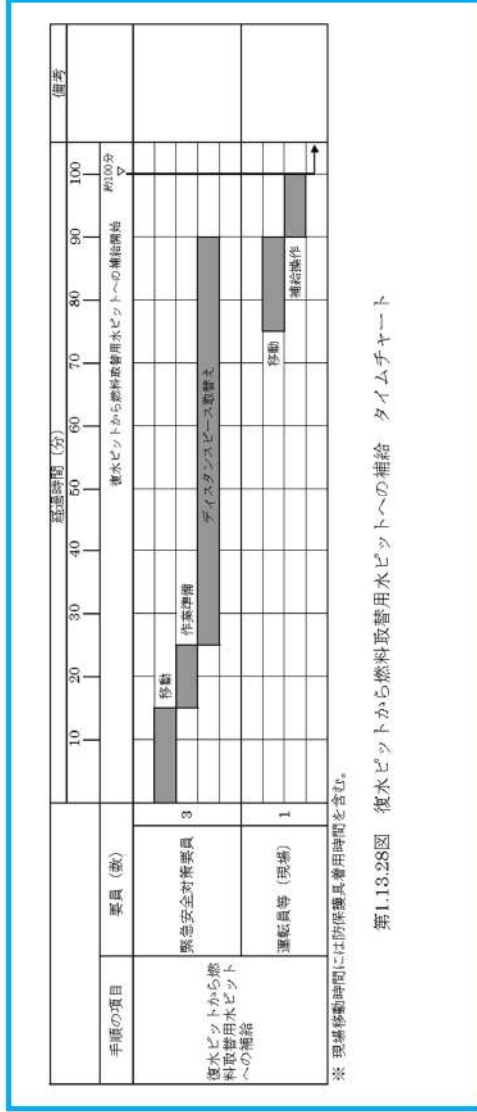


灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

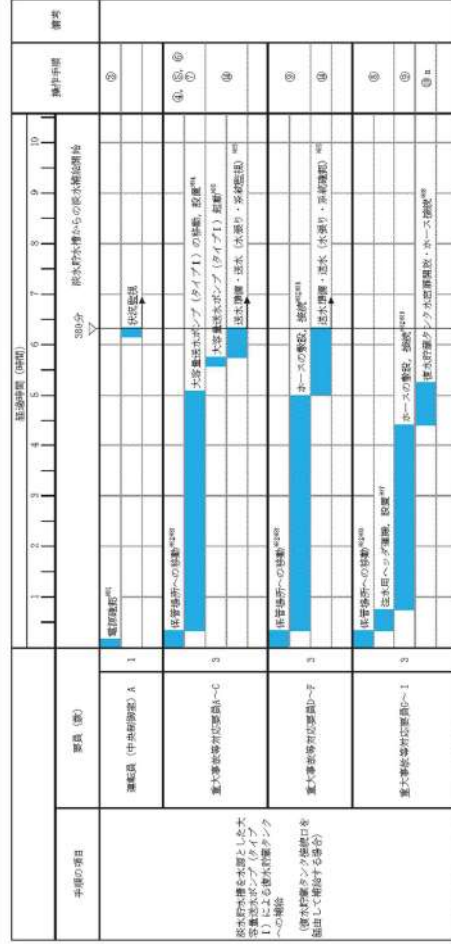
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



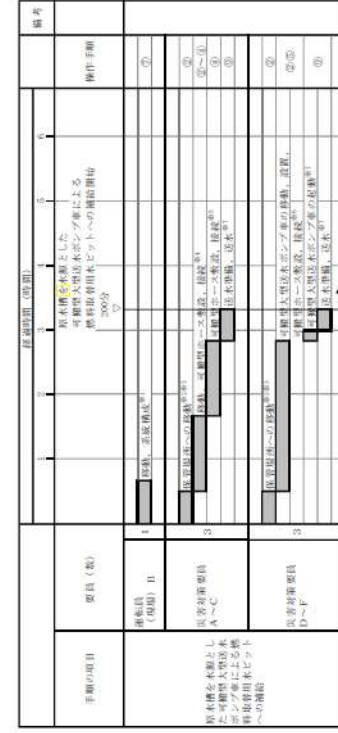
第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 凉水貯蔵タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）  
（復水貯蔵タンク接続口を臨出して補給する場合）

泊発電所3号炉



第1.13.3図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】  
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大飯】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

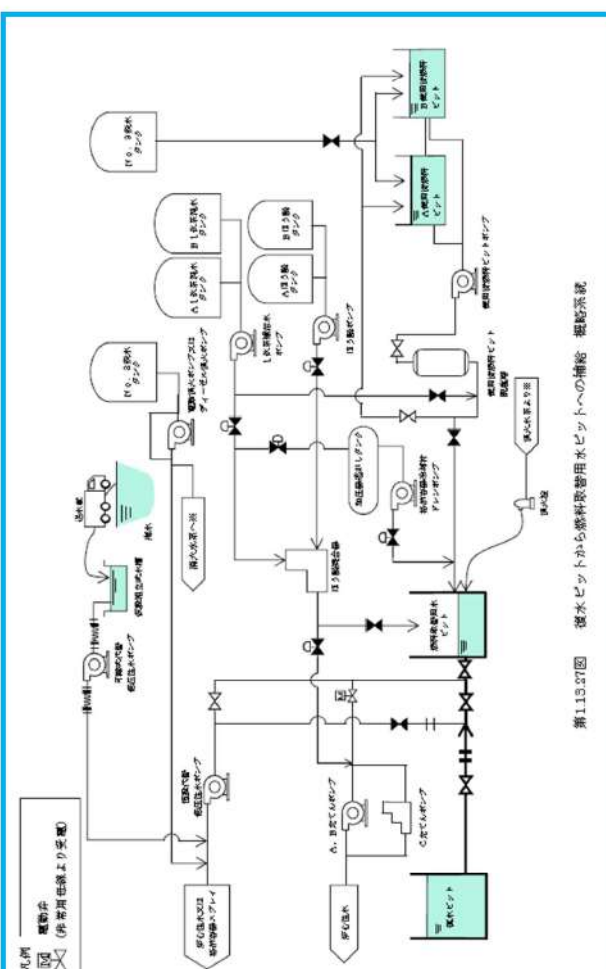
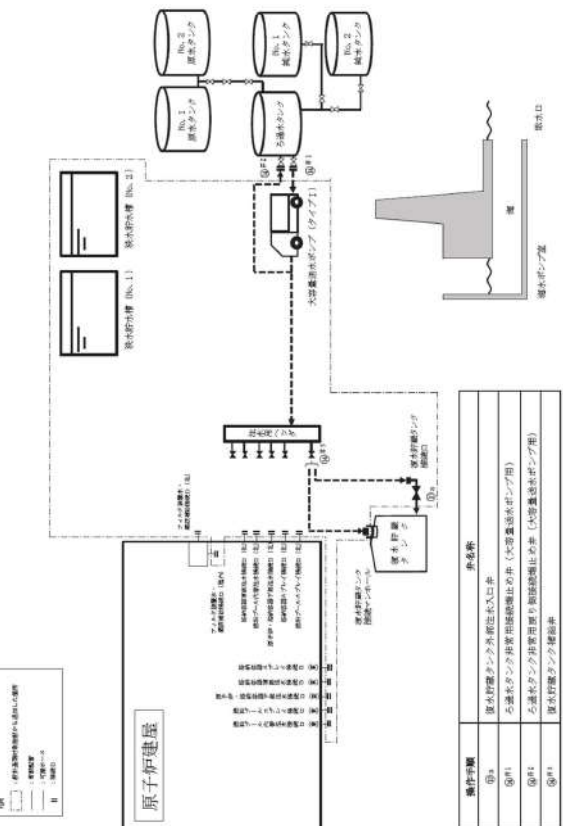
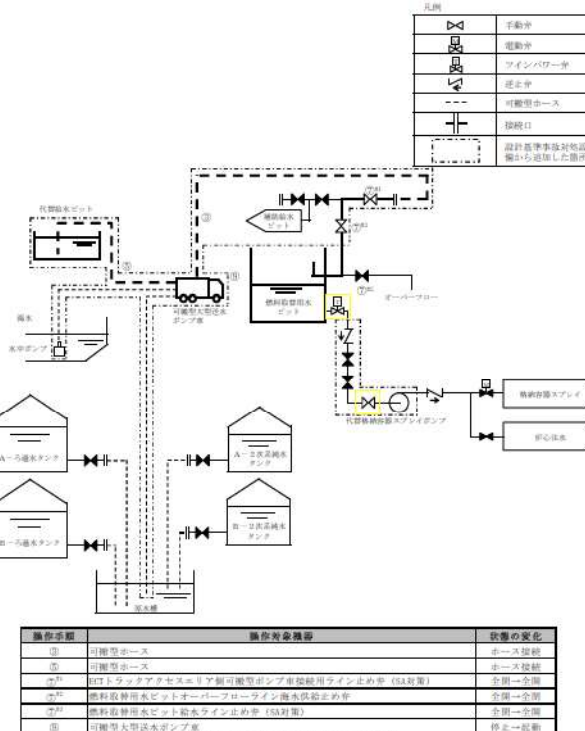
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1-13-15 図 送水貯蔵タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/2） （送水貯蔵タンク接続マンホールを經由して補給する場合）</p> <p>※1：中央部欄等での括弧記載は、作業の優先順位を示す。 ※2：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※3：緊急時用以外の場所から緊急時用までの移動を想定した移動時間を示している。 ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※6：ホースの敷設場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※7：送水貯蔵タンクの設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※8：送水貯蔵タンクの設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※9：送水貯蔵タンクの設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。 ※10：送水貯蔵タンクの設置場所は、緊急時用であり、緊急時用以外の場合は、緊急時用以外の場所である。</p>		



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第113.37図 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	 <p>第1.13-16 図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <p>第1.13.4 図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

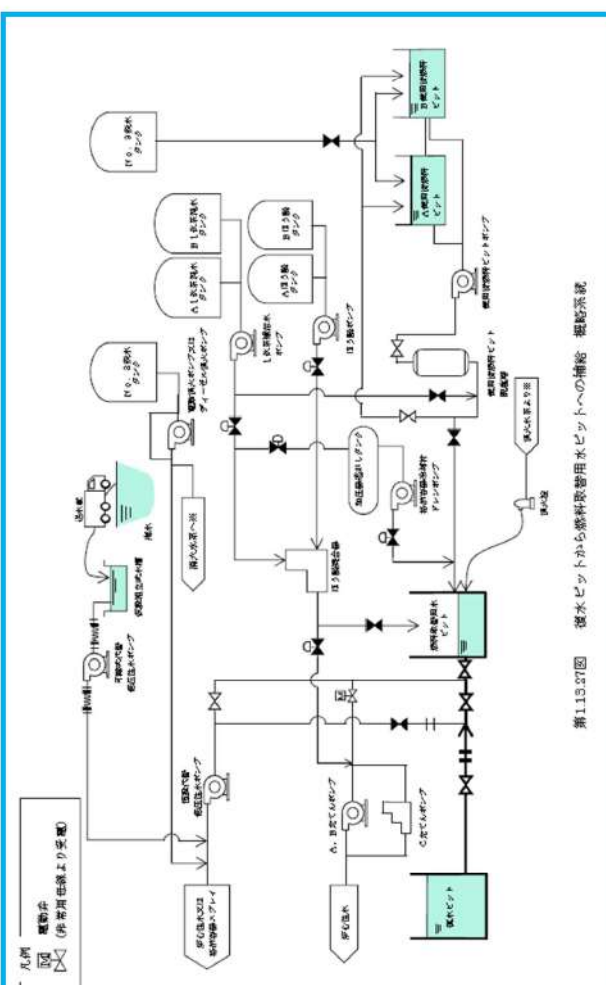
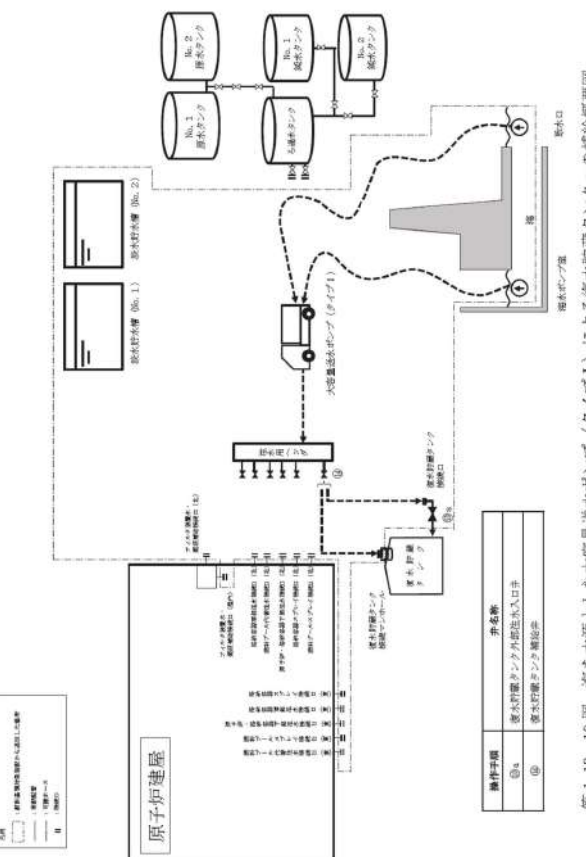
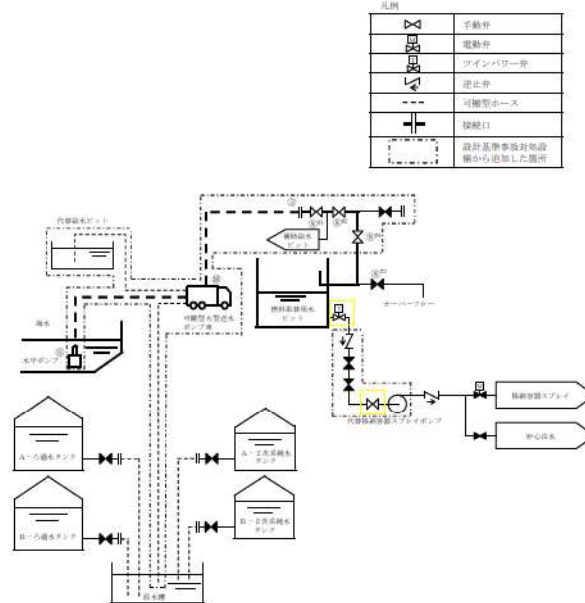
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>※1：中央制御室での対応手順は、緊急時エリア及び緊急時エリアからの緊急時対応手順を指す。          ※2：非常時対応水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は緊急時エリア、緊急時エリア及び緊急時エリアからの緊急時対応手順を指す。          ※3：緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間から緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間までを想定した稼働時間及び非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮して作業中に余裕を見込んで時間。          ※4：非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、緊急時エリアからの緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間から緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間までを想定した稼働時間及び非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮して作業中に余裕を見込んで時間。          ※5：ホースの敷設・撤去作業として、緊急時エリアからの緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間から緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間までを想定した稼働時間及び非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮して作業中に余裕を見込んで時間。          ※6：ホースの敷設・撤去作業として、緊急時エリアからの緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間から緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間までを想定した稼働時間及び非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮して作業中に余裕を見込んで時間。          ※7：注水用ヘンダの稼働時間として、緊急時エリアからの緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間から緊急時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間までを想定した稼働時間及び非常時対応水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮して作業中に余裕を見込んで時間。          ※8：注水用ヘンダを考慮して稼働した作業中に余裕を見込んで時間。</p>		

第1.13-18図 貯水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/2）  
（復水貯蔵タンク稼働マンホールを踏田して補給する割合）

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第1.13.57図 後水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p>第1.13-19 図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による後水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <p>第1.13.6 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1005 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>大容量可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水送給ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑦：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	装置の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	大容量可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水送給ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開	⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づける</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	装置の変化																									
①	可搬型ホース	ホース接続																									
②	可搬型ホース	ホース接続																									
③	大容量可搬型ポンプ車送給用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
④	補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水送給ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開																									
⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																									





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.13-21 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合（山形ルート））</p>	<p>図 1.13-21 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合（山形ルート））</p>	<p>図 1.13-22 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-22 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-23 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-24 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（5/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-24 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（5/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-24 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（5/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-25 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（6/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-25 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（6/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-25 図 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（6/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	<p>図 1.13-26 海水水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（7/4）                  （潜水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">女川2号炉 耐震性防火水槽による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p> <p>凡例          [Dashed line] : 設計基準対象施設から追加した箇所          [Solid line] : 常設配管          [Dotted line] : 可搬ホース          [Symbol] : 接続口</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	<div style="text-align: center;"> </div> <p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(要)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐震性防火水槽を水源とし、化学消防自動車による復旧貯蔵タンクへの補給</td> <td>運転員(中央制御室) A</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>初期消火要員(消防車隊) A-E</td> <td>④、⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間          注2：化学消防自動車の電源確保は第1保管エリア及び第4保管エリア          注3：事務本館又は事務棟から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          注4：化学消防自動車の移動距離として、第1保管エリアから耐震性防火水槽までを想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          注5：ホース敷設前後の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          注6：化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>第 1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧貯蔵タンクへの補給タイムチャート</p>	手順の項目	要員(要)	備考	耐震性防火水槽を水源とし、化学消防自動車による復旧貯蔵タンクへの補給	運転員(中央制御室) A	③	初期消火要員(消防車隊) A-E	④、⑤	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">                 女川2号炉との比較対象なし             </div>	【女川】 設備の相違（相違理由①）
手順の項目	要員(要)	備考									
耐震性防火水槽を水源とし、化学消防自動車による復旧貯蔵タンクへの補給	運転員(中央制御室) A	③									
	初期消火要員(消防車隊) A-E	④、⑤									



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

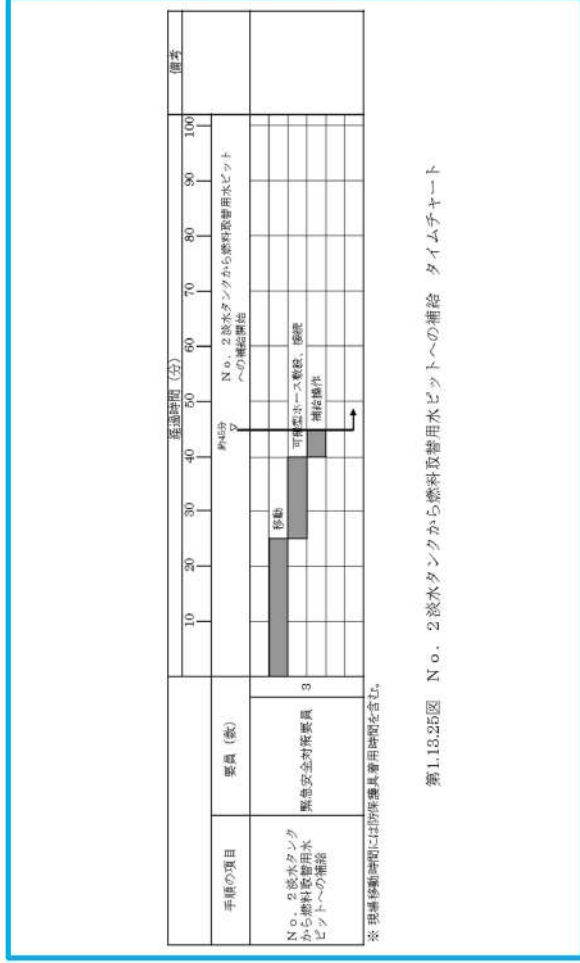
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

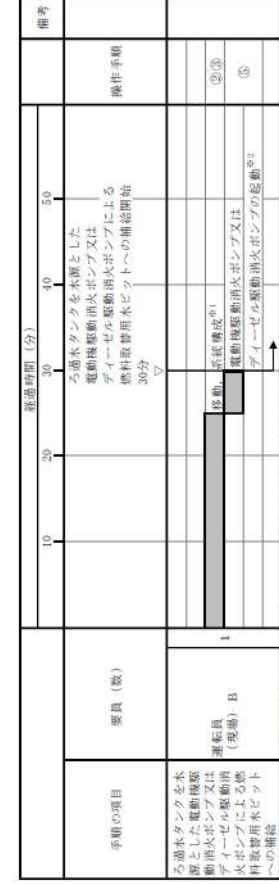
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし

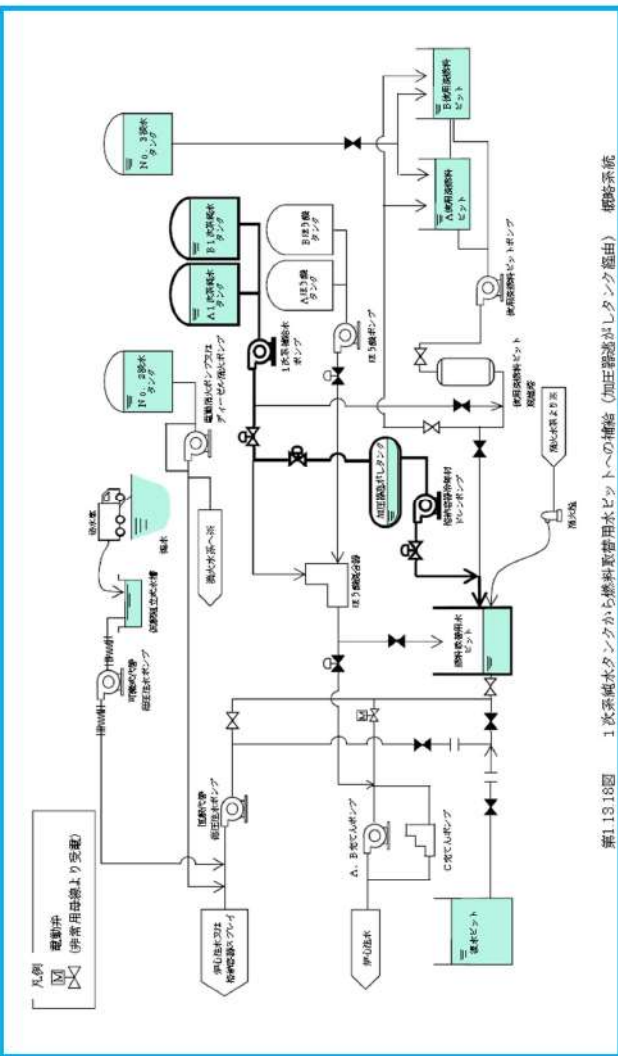
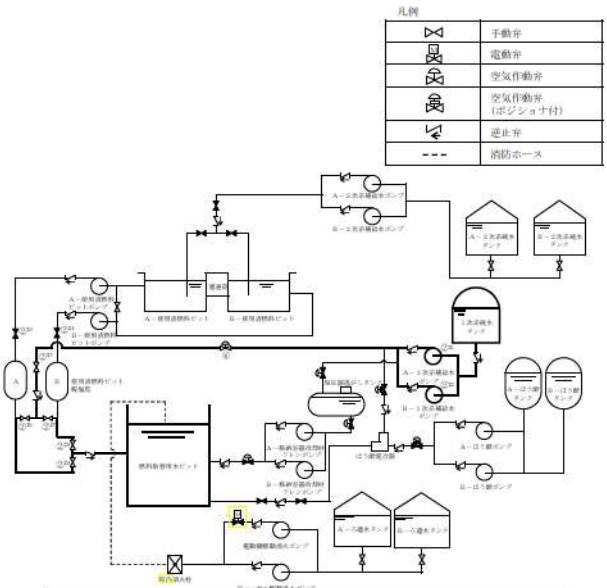


【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の反映）  
・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加

【女川】記載内容の相違  
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>前1.13.18図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加工器がシタンク経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 933 1937 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1 一次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1 一次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-1 使用済燃料ピット取込場入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-1 使用済燃料ピット取込場入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>使用済燃料ピット取込場逆洗水線弁</td> <td>調整開確認</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>取込場補給水止弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動	②	B-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動	③	A-1 使用済燃料ピット取込場入口弁	全開→全開	④	B-1 使用済燃料ピット取込場入口弁	全開→全開	⑤	使用済燃料ピット取込場逆洗水線弁	調整開確認	⑥	A-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁	全開→全開	⑦	B-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁	全開→全開	⑧	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁	全開→全開	⑨	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁	全開→全開	⑩	取込場補給水止弁	全開→全開	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】              記載内容の相違              ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	A-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
②	B-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
③	A-1 使用済燃料ピット取込場入口弁	全開→全開																																		
④	B-1 使用済燃料ピット取込場入口弁	全開→全開																																		
⑤	使用済燃料ピット取込場逆洗水線弁	調整開確認																																		
⑥	A-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁	全開→全開																																		
⑦	B-1 使用済燃料ピット取込場逆洗弁	全開→全開																																		
⑧	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁	全開→全開																																		
⑨	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化戻りライン切替弁	全開→全開																																		
⑩	取込場補給水止弁	全開→全開																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

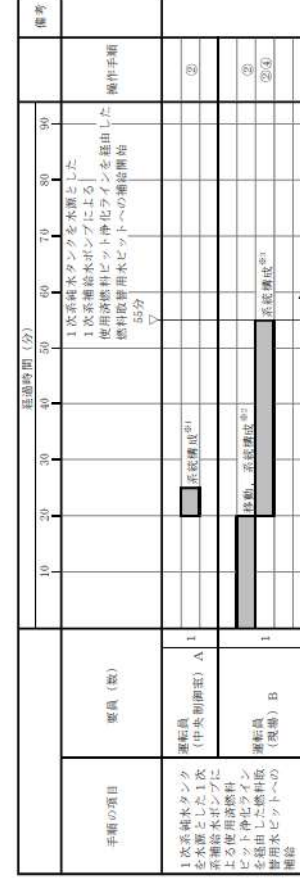
【比較のため、記載順序入替え】



※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。

第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取扱替用水ピペットへの補給 (加圧器述がシタンク経由) タイムチャート

泊3号炉との比較対象なし



※1：機器の搬送時間及び搬送時間を含めた時間  
※2：中央制御室から燃料取扱替用水ピペットまでの移動時間及び機器の操作時間(余裕を見込んだ時間)  
※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

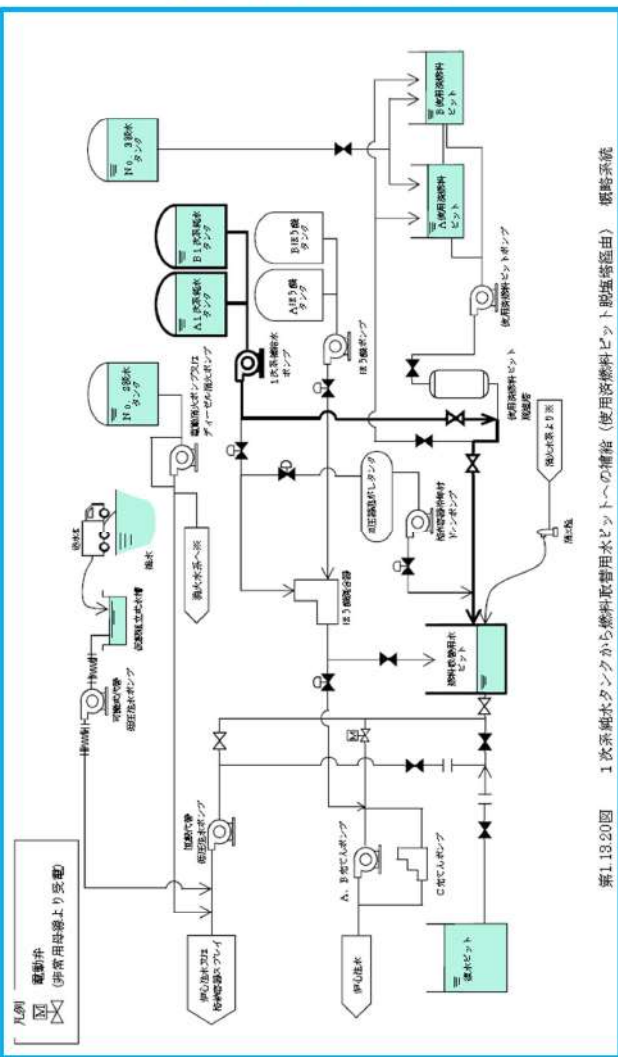
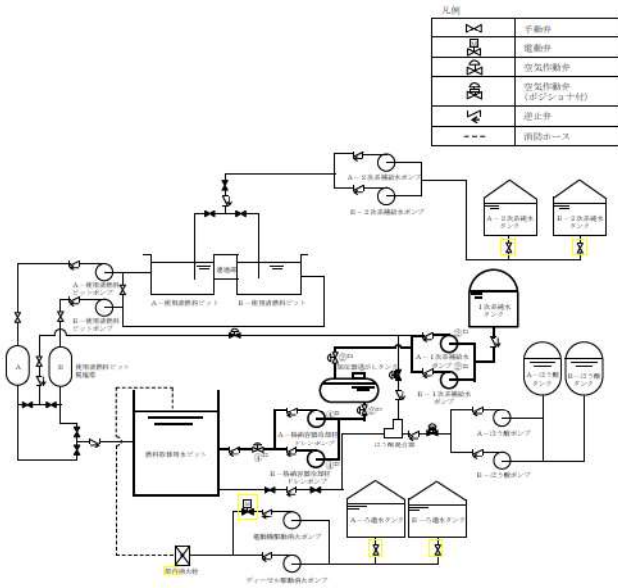
第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピペット浄化ラインを bypass した燃料取扱替用水ピペットへの補給 タイムチャート

- 【大飯】  
記載方針の相違 (女川審査実績の反映)  
・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加
- 【女川】  
記載内容の相違  
・炉型の相違による対応手段の相違



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 965 1960 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A-格納容器冷埋材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>格納容器冷埋材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-格納容器冷埋材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	②	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	③	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉	④	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉	⑤	A-格納容器冷埋材ドレンポンプ	停止→起動	⑥	格納容器冷埋材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁	全開→全閉	⑦	B-格納容器冷埋材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul> <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炉型の相違による対応手段の相違</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
①	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
②	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
③	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉																									
④	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉																									
⑤	A-格納容器冷埋材ドレンポンプ	停止→起動																									
⑥	格納容器冷埋材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁	全開→全閉																									
⑦	B-格納容器冷埋材ドレンポンプ	停止→起動																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

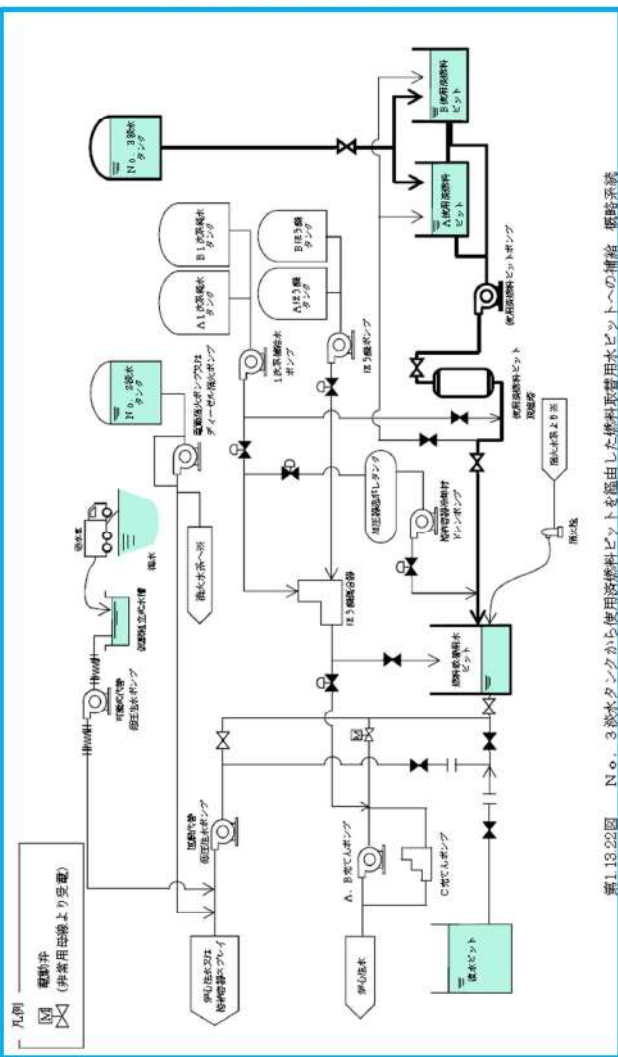
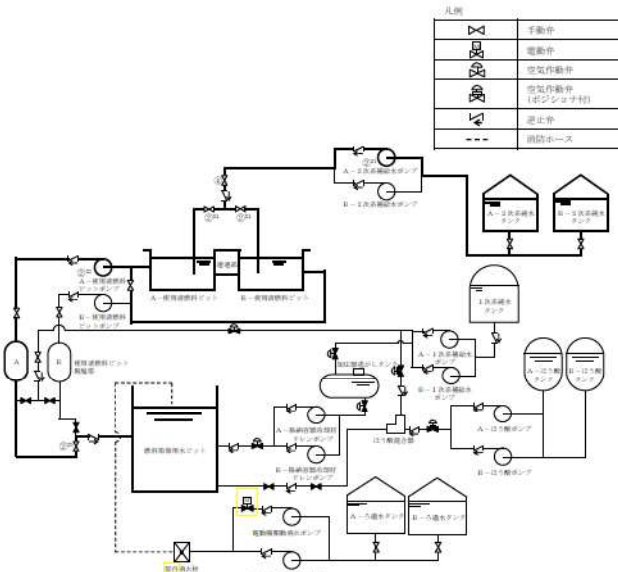
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には対応機具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の動作時間及び動作時間之余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間之余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

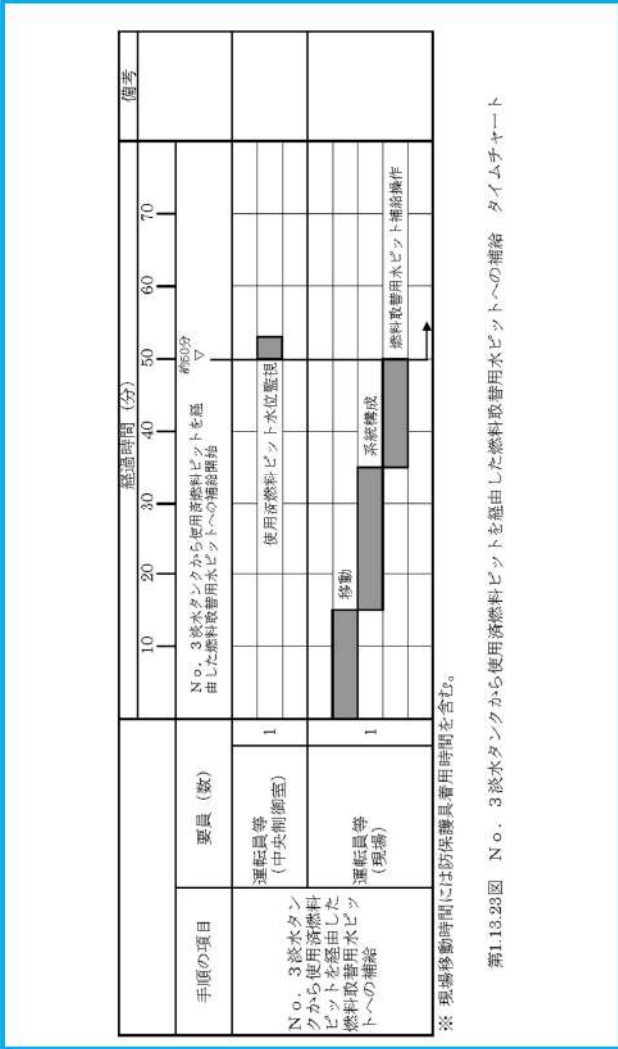
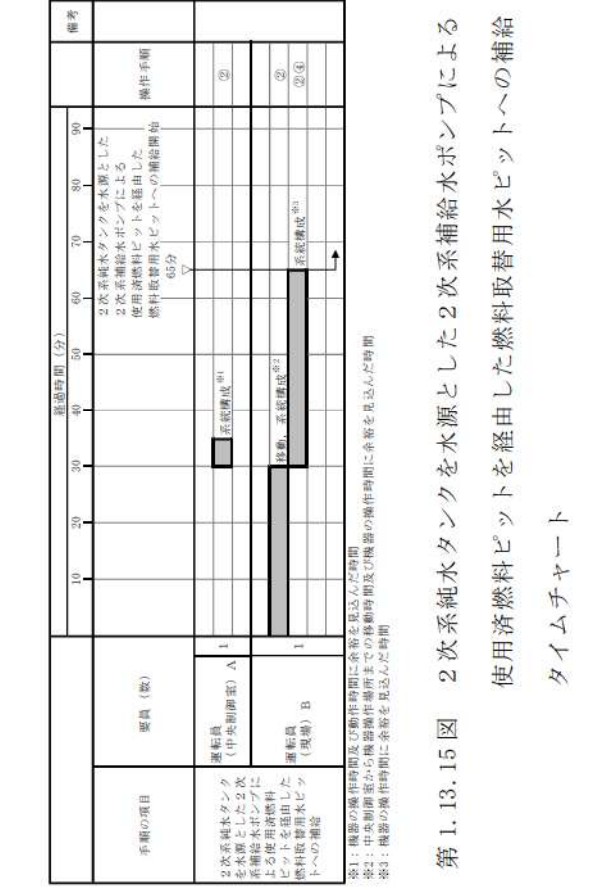
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.25図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 973 1960 1069"> <thead> <tr> <th>操作形態</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>取替直前</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプ</td> <td>取替直前</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-使用済燃料ピットピット目詰り燃料取替用水ピットろ過装置</td> <td>全停→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-使用済燃料ピット減速機</td> <td>全停→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-使用済燃料ピット補助ポンプ</td> <td>全停→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>使用済燃料ピット脱泡ろ過器</td> <td>全停→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.14図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作形態	操作対象機器	状態の変化	①	A-2次系補給水ポンプ	取替直前	②	A-使用済燃料ピットポンプ	取替直前	③	A-使用済燃料ピットピット目詰り燃料取替用水ピットろ過装置	全停→全開	④	A-使用済燃料ピット減速機	全停→全開	⑤	B-使用済燃料ピット補助ポンプ	全停→全開	⑥	使用済燃料ピット脱泡ろ過器	全停→全開	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作形態	操作対象機器	状態の変化																						
①	A-2次系補給水ポンプ	取替直前																						
②	A-使用済燃料ピットポンプ	取替直前																						
③	A-使用済燃料ピットピット目詰り燃料取替用水ピットろ過装置	全停→全開																						
④	A-使用済燃料ピット減速機	全停→全開																						
⑤	B-使用済燃料ピット補助ポンプ	全停→全開																						
⑥	使用済燃料ピット脱泡ろ過器	全停→全開																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

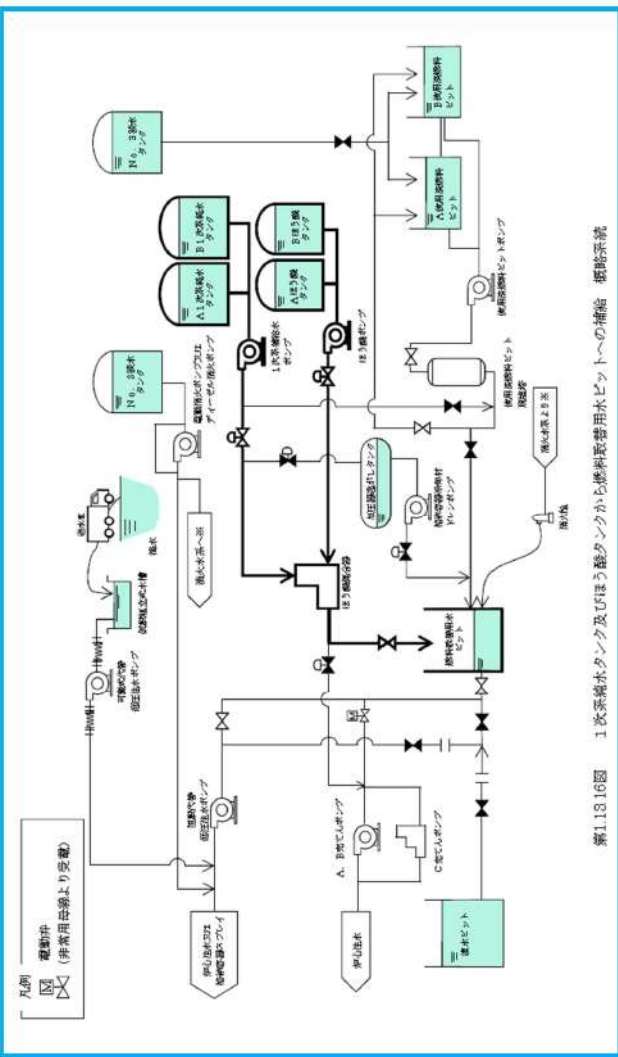
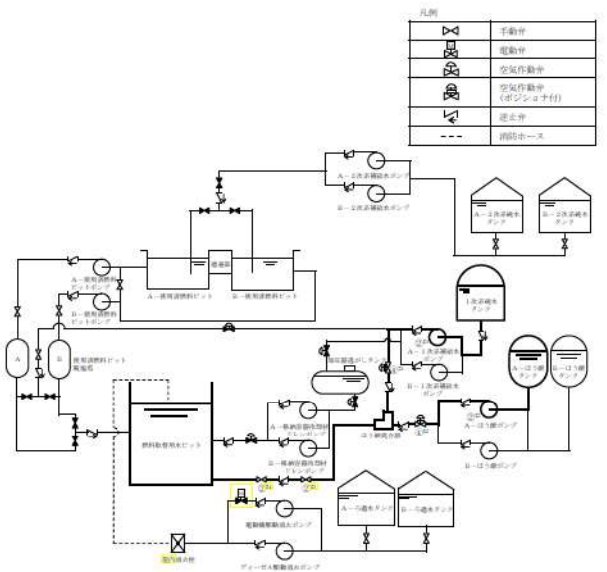
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.23図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.15図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・タイムチャート に操作手順番号 を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違によ る対応手段の相 違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>縦1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概略図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1780 375 1971 502"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手動弁</td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁</td> <td>空気作動弁 (ボジション付)</td> </tr> <tr> <td>逆止弁</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>消音ケース</td> <td>消音ケース</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1422 949 1948 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>A</sup></td> <td>A-1次系補給ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③<sup>A</sup></td> <td>A-びほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④<sup>A</sup></td> <td>びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>A</sup></td> <td>びほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>A</sup></td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>A</sup></td> <td>びほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～、同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	凡例		手動弁	電動弁	空気作動弁	空気作動弁 (ボジション付)	逆止弁	逆止弁	消音ケース	消音ケース	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>A</sup>	A-1次系補給ポンプ	停止→起動	③ <sup>A</sup>	A-びほう酸ポンプ	停止→起動	④ <sup>A</sup>	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開	⑤ <sup>A</sup>	びほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁	全開→全閉	⑥ <sup>A</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全開→調整開	⑦ <sup>A</sup>	びほう酸補給ライン流量制御弁	全開→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
凡例																																		
手動弁	電動弁																																	
空気作動弁	空気作動弁 (ボジション付)																																	
逆止弁	逆止弁																																	
消音ケース	消音ケース																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																
② <sup>A</sup>	A-1次系補給ポンプ	停止→起動																																
③ <sup>A</sup>	A-びほう酸ポンプ	停止→起動																																
④ <sup>A</sup>	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開																																
⑤ <sup>A</sup>	びほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁	全開→全閉																																
⑥ <sup>A</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全開→調整開																																
⑦ <sup>A</sup>	びほう酸補給ライン流量制御弁	全開→調整開																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

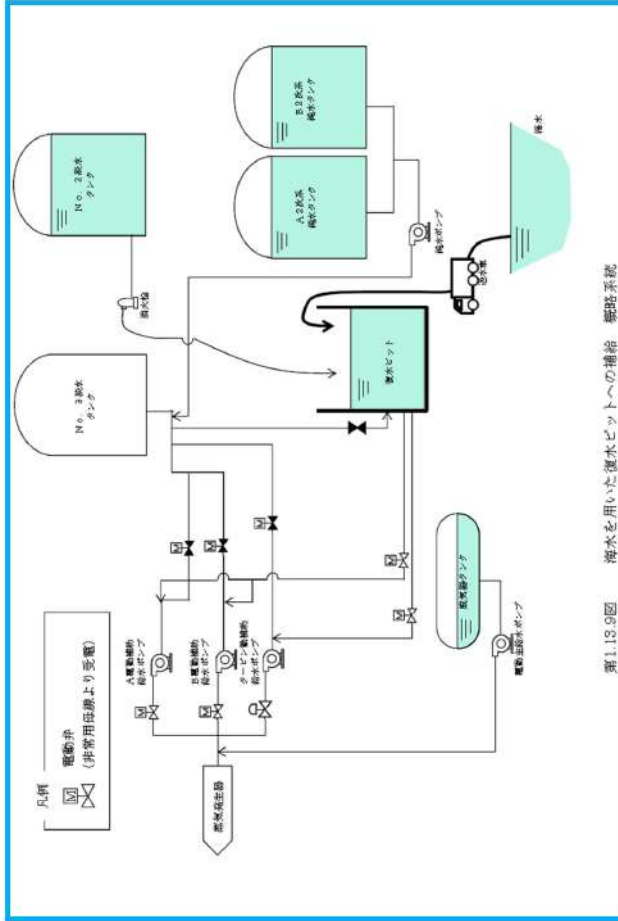
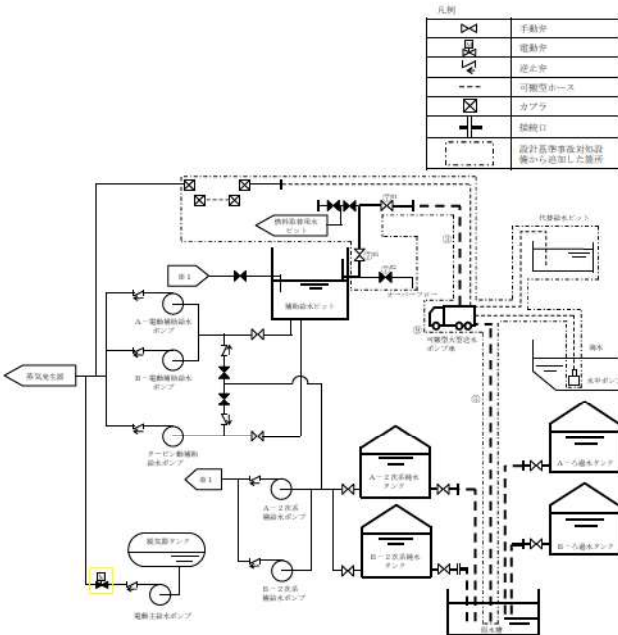
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防保操員着替時間を含む。</p> <p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 1005 1971 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>SA</sup></td> <td>車右側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>SA</sup></td> <td>補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>SA</sup></td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1.13.18 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>SA</sup>	車右側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④ <sup>SA</sup>	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤ <sup>SA</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ <sup>SA</sup>	車右側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
④ <sup>SA</sup>	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑤ <sup>SA</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5									
【比較のため、記載順序入替え】										
※ 現場移動時間には防犯護具着用時間を含む。										

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
泊3号炉との比較対象なし										

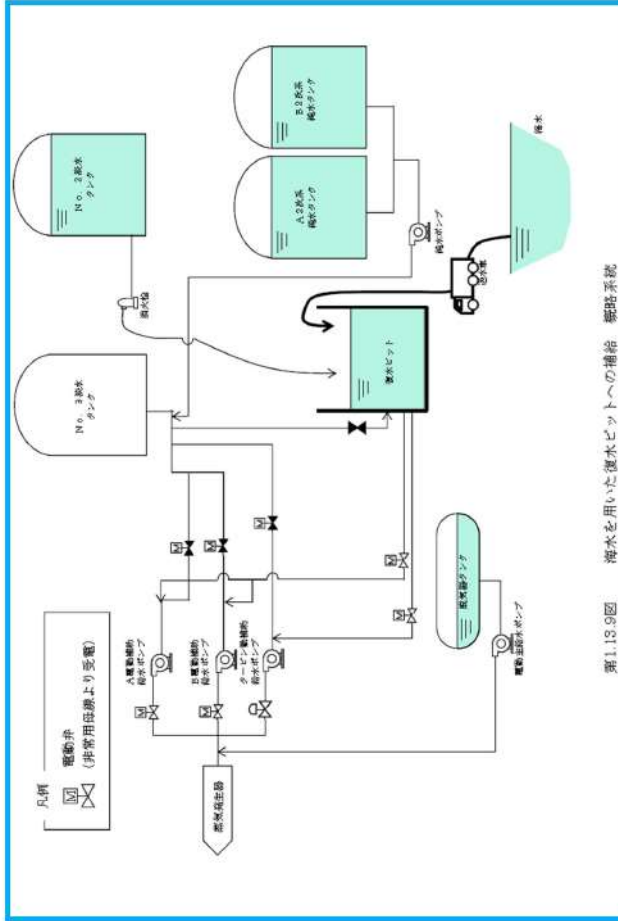
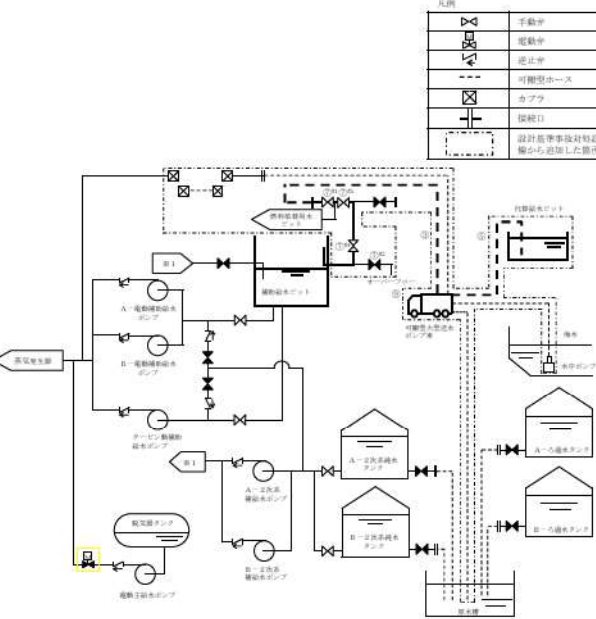
泊発電所3号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5									
※ 現場移動時間には防犯護具着用時間を含む。										

第1.13.19図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補給水ピットへの補給 タイムチャート

【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.19図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5				約4時間		海水を用いた復水ピットへの補給開始			
					移動、車両配置					
					送水車廻り準備					
					可搬型ホース敷設					
					可搬型ホース監視					

【比較のため、再掲】

※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
海水を用いた復水ピットへの補給										

泊3号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	運転員(4名) 緊急対策要員 A~C 緊急対策要員 D~F									
					移動、車両配置					
					送水車廻り準備					
					可搬型ホース敷設					
					可搬型ホース監視					

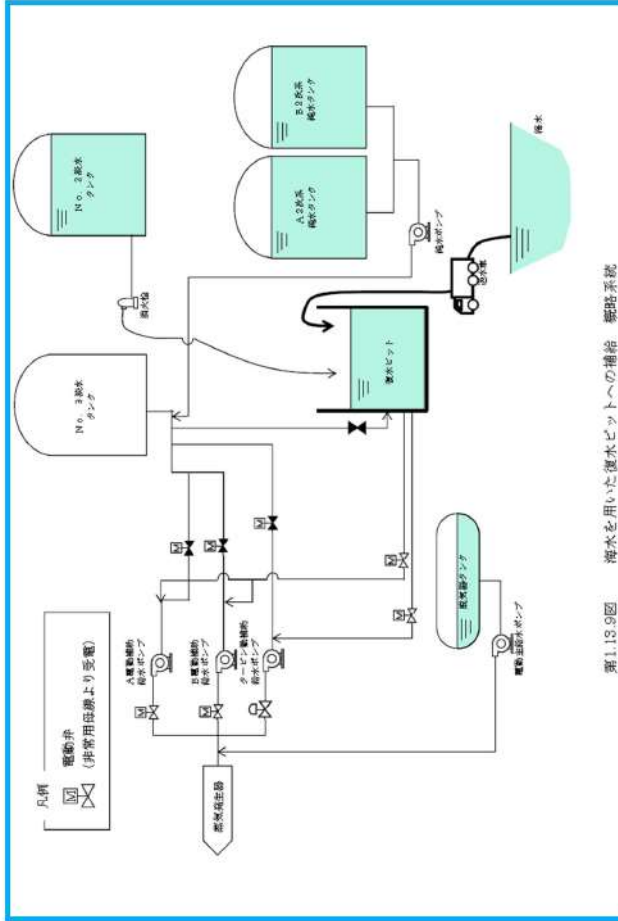
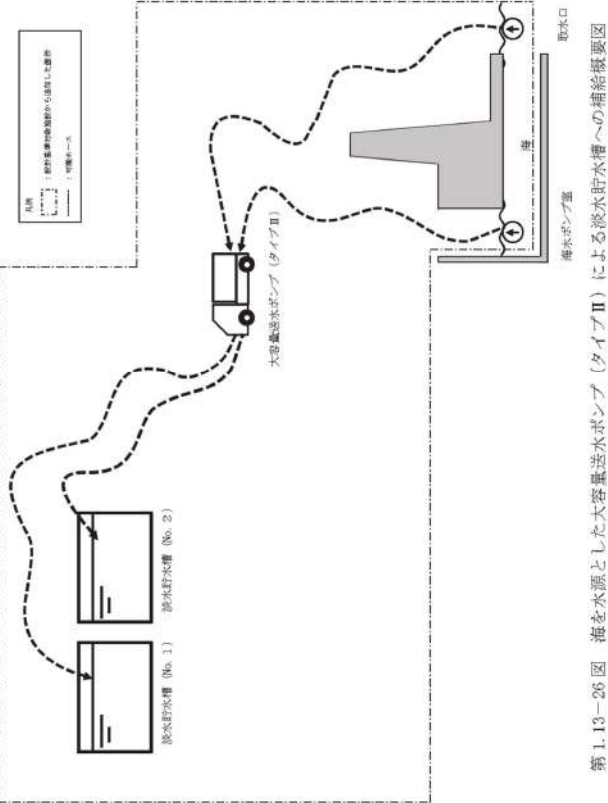
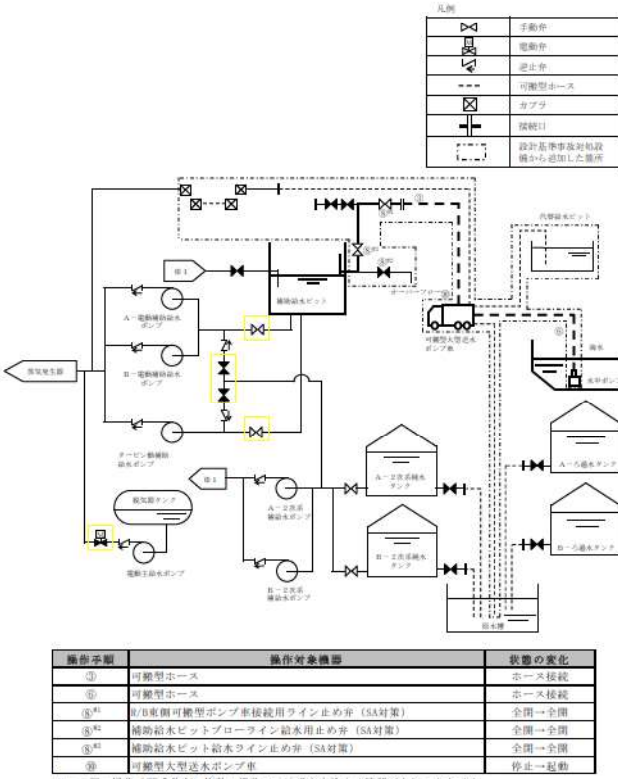
第1.13.21図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由

【大飯】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13-26図 海を水源とした大容量海水ポンプ（タイプⅡ）による淡水貯水槽への補給概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.22図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1013 1960 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>※</sup></td> <td>可搬型可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>※</sup></td> <td>補助給水ピットブローライン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>※</sup></td> <td>補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>※</sup>	可搬型可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④ <sup>※</sup>	補助給水ピットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤ <sup>※</sup>	補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ <sup>※</sup>	可搬型可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
④ <sup>※</sup>	補助給水ピットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑤ <sup>※</sup>	補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>手順の項目</p>	<p>要員(名)</p> <p>重大事故等対応要員A~C 3</p> <p>重大事故等対応要員D~F 3</p> <p>重大事故等対応要員G~I 3</p>		
	<p>海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給(海水ポンプ室から海水を取水する場合)</p>		
	<p>※1：大容量送水ポンプ(タイプII)の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア、ホースの保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア</p> <p>※2：灰色は女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載</p> <p>※3：設計状況を考慮して想定した作業時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>※4：大容量送水ポンプ(タイプII)の稼働時間として、第2保管エリアから海水ポンプ室までを想定した稼働時間及び大容量送水ポンプ(タイプII)設置訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※5：大容量送水ポンプ(タイプII)稼働訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※6：ホース敷設訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p>		
	<p>第 1.13-28 図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給タイムチャート(2/2) (海水ポンプ室から海水を取水する場合)</p>		



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">図 1.13.24 図 No. 3 純水タンクから雑水ビットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1451 1050 1975 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>A-2 2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1.13.24 図 2 次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	A-2 2次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>2)</sup>	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
① <sup>1)</sup>	A-2 2次系補給水ポンプ	停止→起動										
② <sup>2)</sup>	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	全閉→調整開										



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.5図 N o. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.25 図 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる 補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ</li> <li>・補足の充実</li> <li>・備考欄の追加</li> </ul> <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炉型の相違による対応手段の相違</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="846 767 1256 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 383 1993 1141"> <table border="1" data-bbox="1400 981 1926 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">③</td> <td>A-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2号二次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2号二次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑤</td> <td>A-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2号二次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2号二次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：いずれかの弁を全開とする。</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③	A-1号過水タンク排水弁	全閉→全開	B-1号過水タンク排水弁	全閉→全開	A-2号二次系純水タンク排水弁	全閉→全開	B-2号二次系純水タンク排水弁	全閉→全開	④	可搬型ホース	ホース接続	⑤	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-2号二次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-2号二次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
③	A-1号過水タンク排水弁	全閉→全開																									
	B-1号過水タンク排水弁	全閉→全開																									
	A-2号二次系純水タンク排水弁	全閉→全開																									
	B-2号二次系純水タンク排水弁	全閉→全開																									
④	可搬型ホース	ホース接続																									
⑤	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																									
	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																									
	A-2号二次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																									
	B-2号二次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																									

第 1.13.26 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※1：ホース延長・回収車（送水車用）の保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b)。 可搬型ホースの保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b)。 ※2：中央制御室から51m倉庫・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水タンクへ到達するまでの移動時間及び可搬型ホースの搬送準備を考慮した作業時間を見込んだ時間。 ※3：ホース延長・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水タンクへ到達するまでの移動時間及び可搬型ホースの搬送準備を考慮した作業時間を見込んだ時間。 ※4：機器の動作時間に見込んだ時間。 ※5：原水タンクへの送水を想定した作業時間に見込んだ時間。</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p> <p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
<p>第 1.13.27 図 2次系純水タンク又ははろ過水タンクからの原水タンクへの補給 タイムチャート</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13-29図 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替 概略系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⌚</td> <td>電動機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⌚</td> <td>逆巻機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⊥</td> <td>逆止弁</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	凡例	記号	説明	○	ポンプ		⌚	電動機		⌚	逆巻機		×	弁		⊥	逆止弁		<p>第1.13-28図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概略図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順	弁名称	①#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	<p>第1.13.28図 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え (原子炉容器への注水中の場合) 概略図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>1号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>2号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>3号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>4号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>5号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>6号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>7号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>8号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>9号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>10号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>11号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>12号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>13号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>14号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>15号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>16号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>17号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>18号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>19号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>20号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>21号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>22号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>23号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>24号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>25号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>26号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>27号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>28号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>29号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>30号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>31号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>32号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>33号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>34号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>35号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>36号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>37号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>38号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>39号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>40号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>41号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>42号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>43号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>44号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>45号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>46号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>47号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>48号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>49号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>50号燃料取替スプレイ弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	1号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	②	2号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	③	3号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	④	4号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑤	5号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑥	6号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑦	7号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑧	8号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑨	9号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑩	10号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑪	11号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑫	12号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑬	13号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑭	14号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑮	15号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑯	16号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑰	17号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑱	18号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑲	19号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	⑳	20号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉑	21号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉒	22号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉓	23号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉔	24号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉕	25号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉖	26号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉗	27号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉘	28号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉙	29号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉚	30号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉛	31号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉜	32号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉝	33号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉞	34号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㉟	35号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊱	36号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊲	37号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊳	38号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊴	39号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊵	40号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊶	41号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊷	42号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊸	43号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊹	44号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊺	45号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊻	46号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊼	47号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊽	48号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊾	49号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	㊿	50号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容 充実</li> <li>・概要図と操作内 容を紐づけ</li> </ul>
凡例	記号	説明																																																																																																																																																																																		
○	ポンプ																																																																																																																																																																																			
⌚	電動機																																																																																																																																																																																			
⌚	逆巻機																																																																																																																																																																																			
×	弁																																																																																																																																																																																			
⊥	逆止弁																																																																																																																																																																																			
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																																			
①#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																																																																																																																																																																			
②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																																																																																																																																																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																		
①	1号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
②	2号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
③	3号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
④	4号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑤	5号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑥	6号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑦	7号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑧	8号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑨	9号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑩	10号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑪	11号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑫	12号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑬	13号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑭	14号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑮	15号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑯	16号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑰	17号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑱	18号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑲	19号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
⑳	20号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉑	21号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉒	22号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉓	23号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉔	24号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉕	25号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉖	26号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉗	27号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉘	28号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉙	29号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉚	30号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉛	31号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉜	32号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉝	33号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉞	34号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㉟	35号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊱	36号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊲	37号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊳	38号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊴	39号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊵	40号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊶	41号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊷	42号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊸	43号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊹	44号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊺	45号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊻	46号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊼	47号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊽	48号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊾	49号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		
㊿	50号燃料取替スプレイ弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																		

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

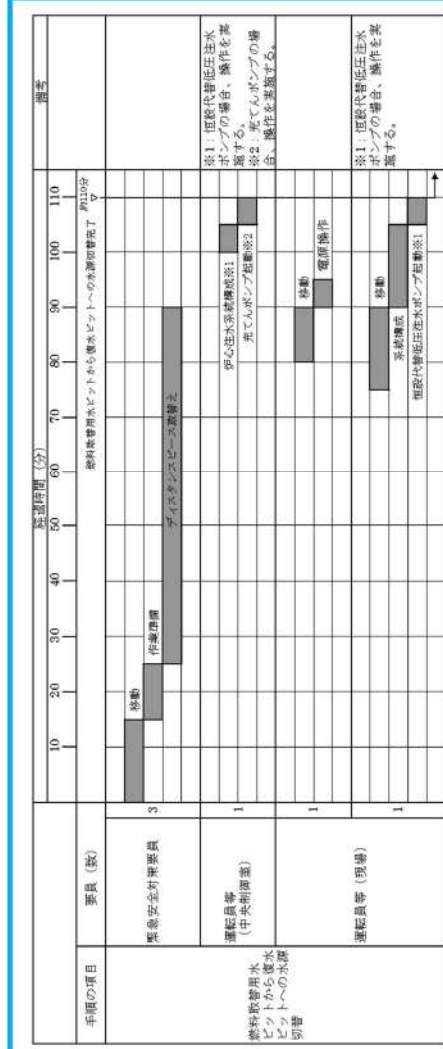
泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

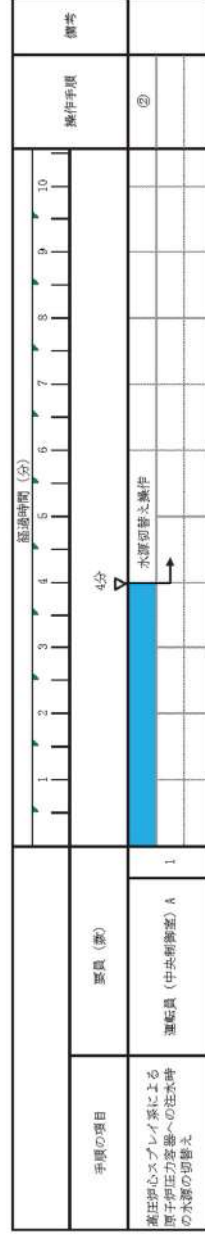
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



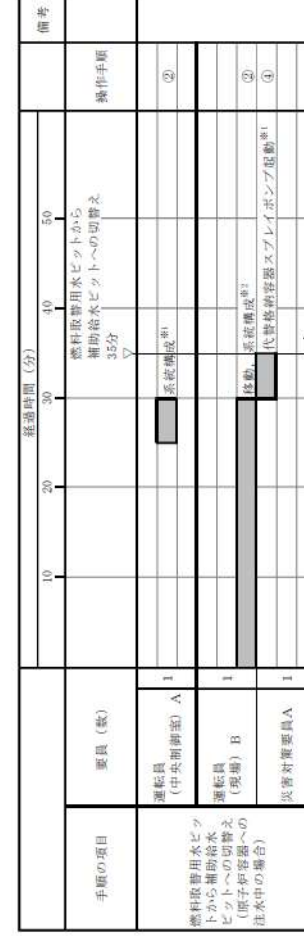
第1.13.15図 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-30図 高圧炉心スプレイスによる原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート

泊発電所3号炉



第1.13.29図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え  
(原子炉容器への注水中の場合) タイムチャート

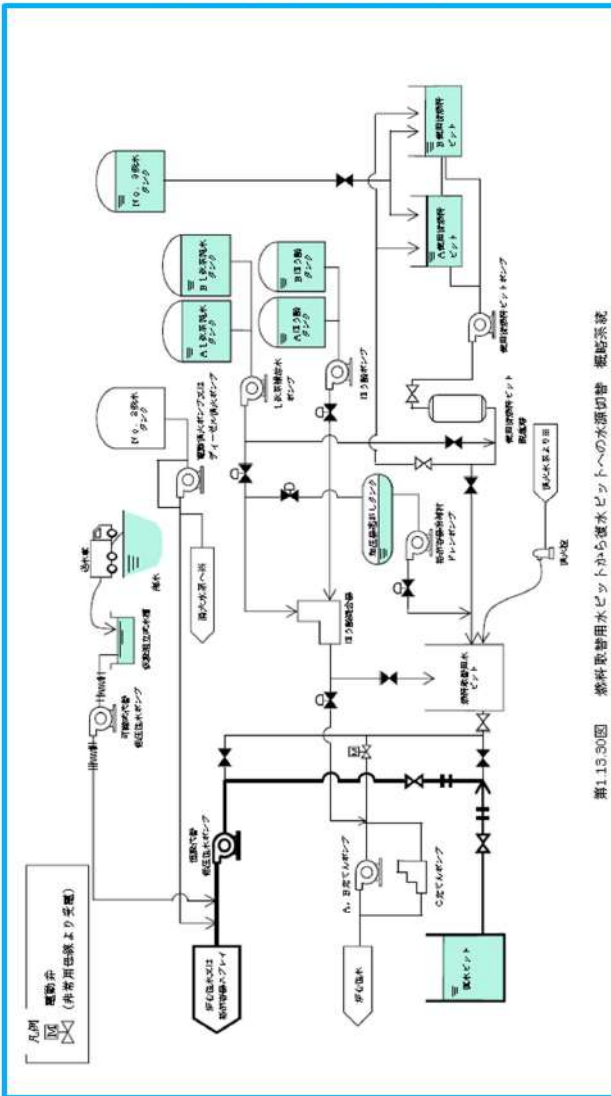
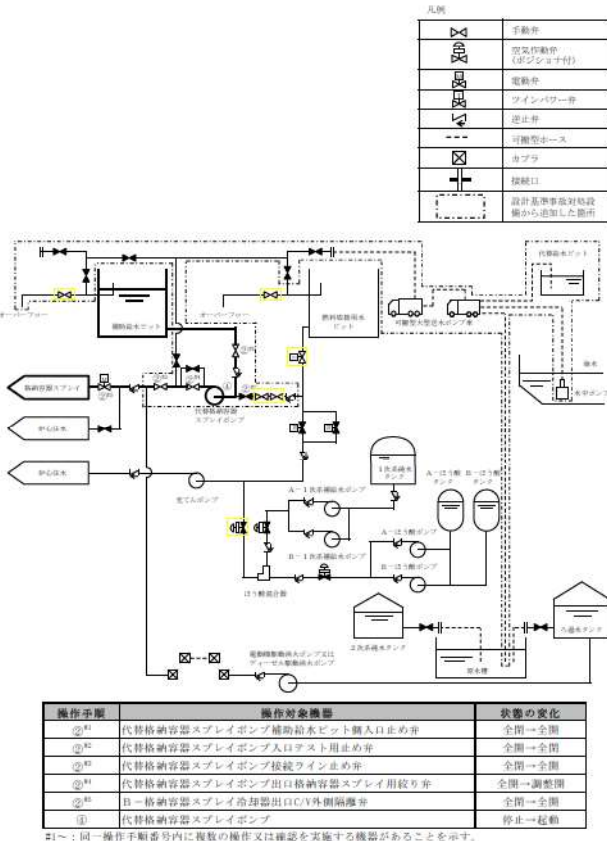
相違理由

【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の  
反映)  
・タイムチャート  
と操作手順番号  
を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから潜水ピットへの水源切替 概略系図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 1037 1971 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>24</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>25</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口タスト用止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>26</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>27</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>28</sup></td> <td>日一格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替 (原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合) 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>24</sup>	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開	② <sup>25</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口タスト用止め弁	全開→全開	② <sup>26</sup>	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開	② <sup>27</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開	② <sup>28</sup>	日一格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開	①	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
② <sup>24</sup>	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開																						
② <sup>25</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口タスト用止め弁	全開→全開																						
② <sup>26</sup>	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開																						
② <sup>27</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開																						
② <sup>28</sup>	日一格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開																						
①	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

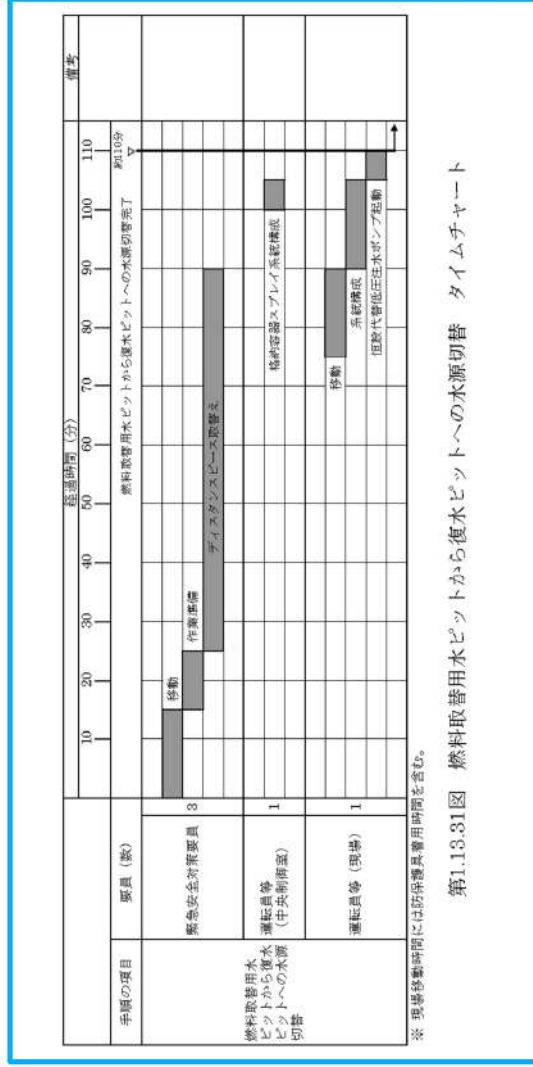
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

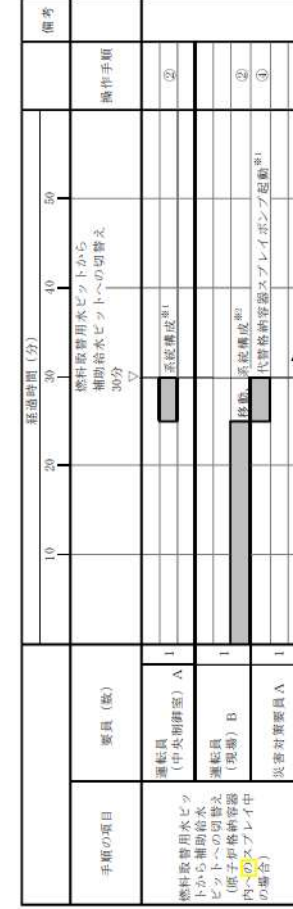
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし



※1：機器の動作時間及び動作時間中に余裕を見込んだ時間  
※2：中央制御室から機器操作室までの移動時間及び機器の操作時間中に余裕を見込んだ時間

【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加

【女川】  
記載内容の相違  
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.18.18図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.32図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>21</sup></td> <td>ほう酸供給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>22</sup></td> <td>1次系純水供給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>23</sup></td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>24</sup></td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>25</sup></td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>②<sup>21</sup>～②<sup>25</sup>：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>21</sup>	ほう酸供給ライン流量制御弁	全閉→調整閉	② <sup>22</sup>	1次系純水供給ライン流量制御弁	全閉→調整閉	② <sup>23</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開	② <sup>24</sup>	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口A	全閉→全開	② <sup>25</sup>	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口B	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
② <sup>21</sup>	ほう酸供給ライン流量制御弁	全閉→調整閉																			
② <sup>22</sup>	1次系純水供給ライン流量制御弁	全閉→調整閉																			
② <sup>23</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開																			
② <sup>24</sup>	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口A	全閉→全開																			
② <sup>25</sup>	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット挿入口B	全閉→全開																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.32図 僅水ピットからNo.3淡水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1433 1013 1982 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>#1</sup></td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#1</sup></td> <td>A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>#1</sup></td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ種出口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ種出口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1. 13. 33 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への注水時の水源の切替え 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>#1</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開	② <sup>#1</sup>	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開	③ <sup>#1</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ種出口弁	全開→全開	④ <sup>#1</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ種出口弁	全開→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
① <sup>#1</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② <sup>#1</sup>	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開																
③ <sup>#1</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ種出口弁	全開→全開																
④ <sup>#1</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ種出口弁	全開→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="846 770 1256 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1496 328 1738 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順の項目</th> <th style="width: 30%;">要員（数）</th> <th style="width: 30%;">経過時間（分）</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">40分</td> <td rowspan="2" style="font-size: small;">電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運転員（現場）B</td> <td style="text-align: center;">40分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">移動、系組構成*1</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">*1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> </div>	手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	運転員（現場）B	40分			移動、系組構成*1	②	<p style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: blue; font-size: small;">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p style="color: blue; font-size: small;">【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考														
電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分	電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え														
	運転員（現場）B	40分															
		移動、系組構成*1	②														
		<p>第1.13.34 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動機補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート</p>															



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1384 384 1895 1161" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1899 515 1926 1182" style="font-size: small;">                     第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱普通用水ピットへの補給                 </div> <div data-bbox="1933 874 1960 1062" style="font-size: x-small;">                     ホース敷設ルート図 (1/2)                 </div> <div data-bbox="1960 437 1986 798" style="font-size: x-small;">                     □：枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2013 722 2166 802" style="color: red; font-size: small;">                     【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">□：枠囲みの内容は機密情報に願いますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold; margin-top: 10px;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1379 411 1877 1161" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1883 515 1944 1203" style="font-size: small;">                     第1.13.36 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱帯用ピット への補給ホース敷設ルート図 (1/2)                 </div> <div data-bbox="1951 496 1980 916" style="font-size: small;">                     □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2013 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                     【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)                 </div>

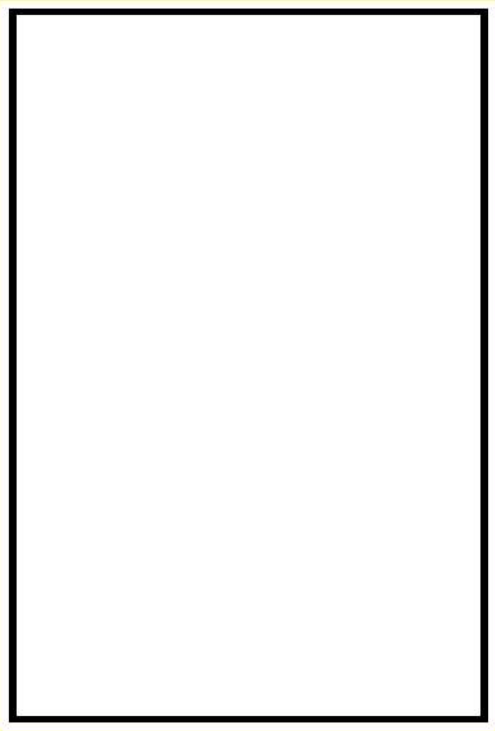
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.36図 代替給水ピットを本願とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給プロセス敷設ルート図 (2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット への供給 ホース敷設カート図 (1/3)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピット への補給 ホース敷設ルート図(2/3)</p> <p style="font-size: x-small;">□：中図の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図 (3/3) □：作図上の内容は機密情報に属しよすので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1252" style="border: 2px solid black; height: 540px; width: 242px;"></div> <div data-bbox="649 406 705 1204" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはありません。 第1.13.26図 No.2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート</p> </div>		<div data-bbox="1377 446 1892 1117" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>第1.13.38図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図</p> </div>	

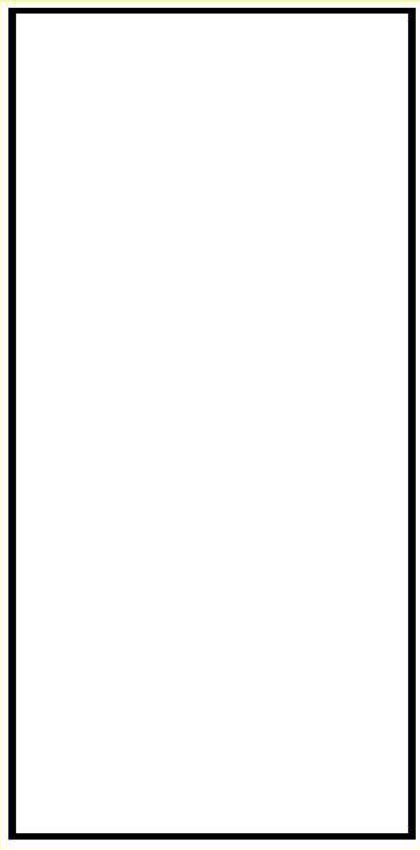
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1379 424 1877 1166" style="border: 2px solid black; height: 465px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1892 491 1984 1094" style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット への補給 ホース敷設ルート図 (1/2)  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> : 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2013 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                     【大飯】 設備の相違(相違理由④)                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図(1/2) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;"> </span>：作図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

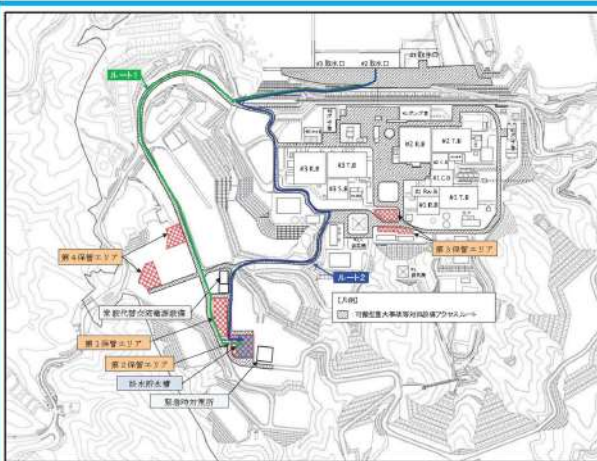
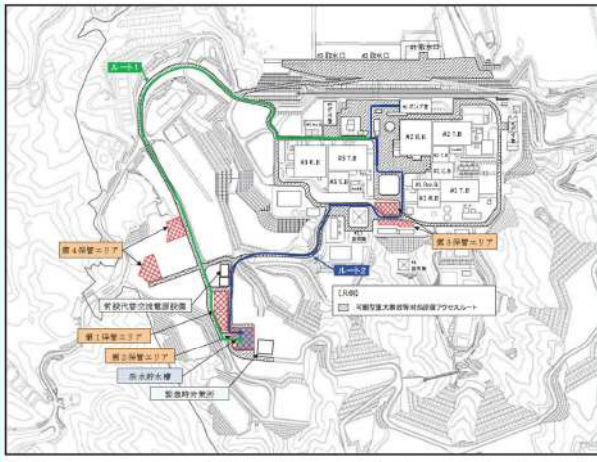
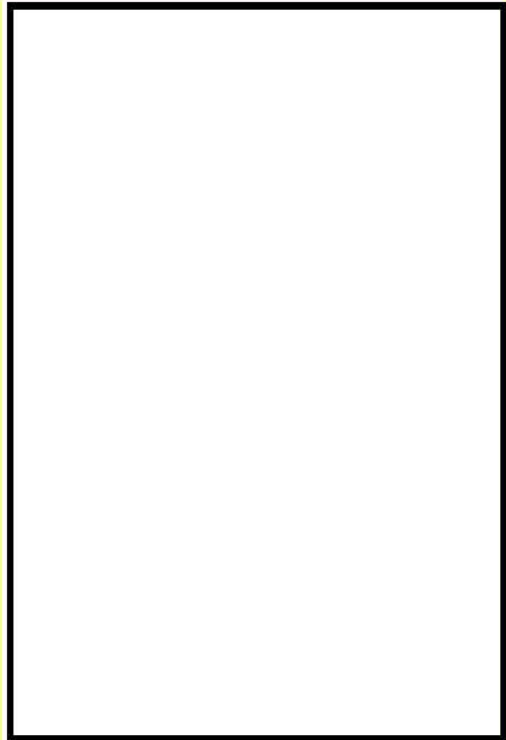


大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1406 437 1868 1118" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1877 432 1944 1155" style="font-size: small;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図(2/2)</p> <p data-bbox="1951 464 1980 884" style="font-size: small;">□：枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2013 751 2166 831" style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> 		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (1/2)</p>	<p>第 1.13-33 図 海から淡水貯水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p>第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3) ： 作図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (2/2)</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/2)</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (4/2)</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

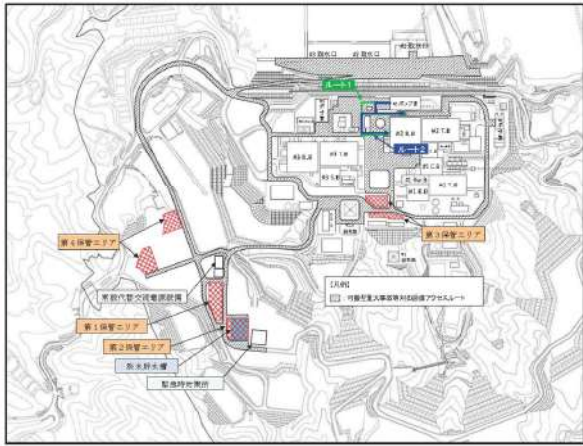
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第 1.13-35 図 淡水貯水槽から各種注水ルート図</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</p>			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13-36 図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>	<div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p style="font-size: x-small; text-align: center;">第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3)</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</p>			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</p>			

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 140 645 403" style="border: 2px solid black; height: 165px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 403 645 422" style="font-size: 8px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="197 464 622 483" style="font-size: 8px;">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</div> <div data-bbox="174 491 645 762" style="border: 2px solid black; height: 170px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 762 645 782" style="font-size: 8px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="208 782 611 801" style="font-size: 8px;">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</div> <div data-bbox="174 810 645 1082" style="border: 2px solid black; height: 170px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 1082 645 1101" style="font-size: 8px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="201 1101 618 1120" style="font-size: 8px;">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</div> <div data-bbox="174 1129 645 1401" style="border: 2px solid black; height: 170px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="315 1401 645 1420" style="font-size: 8px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="201 1420 618 1439" style="font-size: 8px;">第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</div>	<div data-bbox="907 544 1189 569" style="text-align: center; color: blue;">【比較のため、記載順序入れ替え】</div> <div data-bbox="739 579 1355 1098" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;">  <p>第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p> </div>	<div data-bbox="1388 427 1877 1134" style="border: 2px solid yellow; height: 443px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="1881 371 1912 1206" style="font-size: 8px;">第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)</div> <div data-bbox="1937 379 1966 754" style="font-size: 8px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 140 645 406" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 406 645 427" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 467 616 485" style="font-size: x-small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (12/22)</div> <div data-bbox="174 491 645 758" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 758 645 778" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 786 616 804" style="font-size: x-small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</div> <div data-bbox="174 810 645 1077" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1077 645 1098" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 1106 616 1123" style="font-size: x-small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (14/22)</div> <div data-bbox="174 1129 645 1396" style="border: 2px solid black; height: 167px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1396 645 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 1425 616 1442" style="font-size: x-small;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (15/22)</div>		<div data-bbox="1451 742 1926 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;">                 大飯3/4号炉との比較対象は                  泊3号炉の第1.13.41図参照             </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等





大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 183 705 518" style="border: 2px solid black; height: 210px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 523 705 545" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <p data-bbox="129 598 683 619" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p> <div data-bbox="107 638 705 981" style="border: 2px solid black; height: 215px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 986 705 1008" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <p data-bbox="129 1013 683 1034" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p> <div data-bbox="107 1037 705 1388" style="border: 2px solid black; height: 220px; width: 267px;"></div> <div data-bbox="286 1393 705 1415" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <p data-bbox="129 1420 683 1441" style="margin-top: 20px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>		<div data-bbox="1444 742 1937 837" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 100px auto; width: fit-content;">                     大飯3 / 4号炉との比較対象は                      泊3号炉の第1.13.41図参照                 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (20/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)</p>			
 <p>※図中の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	

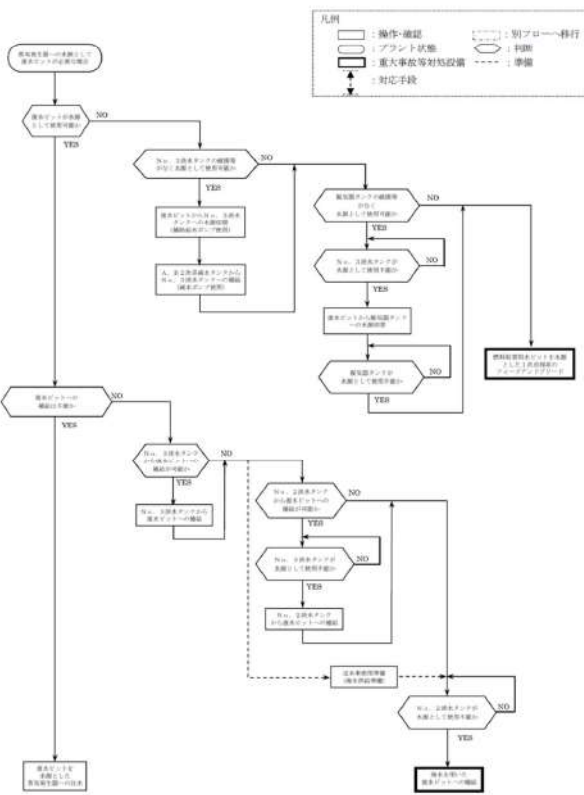
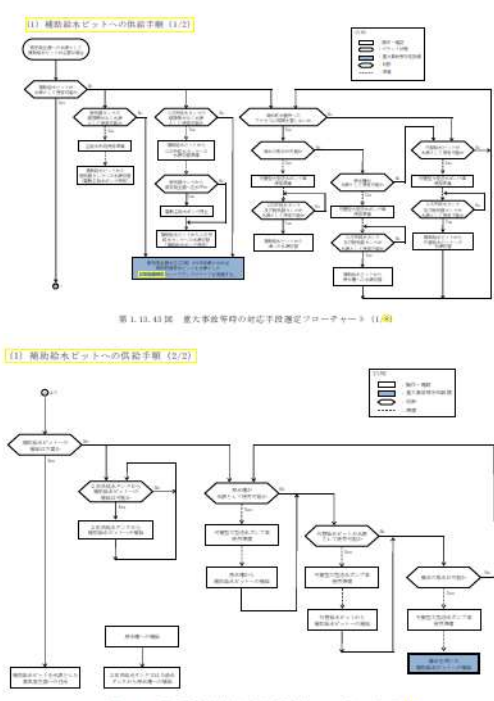
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">第1.13.42図 2次系純水タンク又はろ過水タンクを水源とした原水槽への補給ホース敷設ルート図 ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

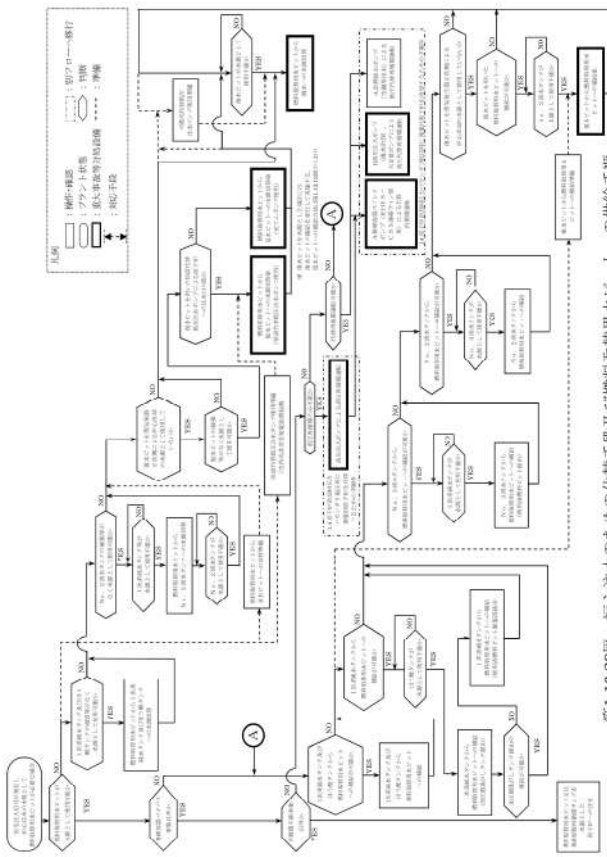
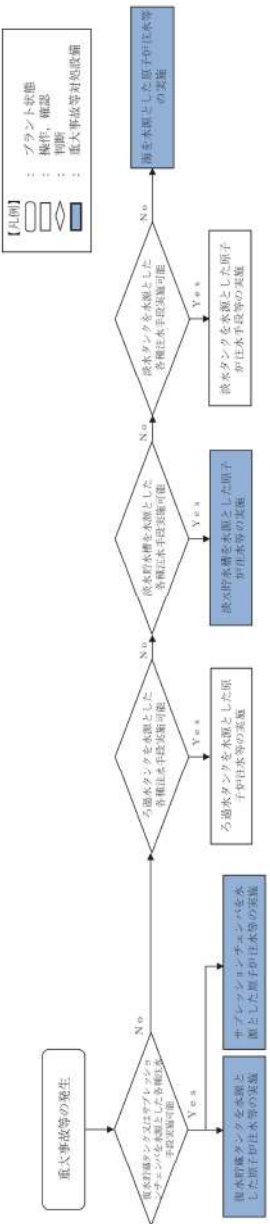
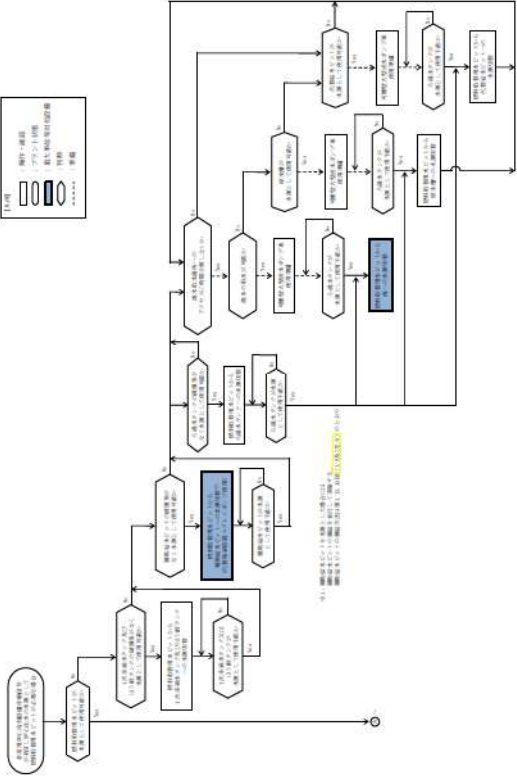
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>		 <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (1/2)</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (2/2)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取扱替用水ピットへの供給手順</p>	 <p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>(2) 炉心注水時における燃料取扱替用水ピットへの補給手順 (1/3)</p>  <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/8)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.29図参照                 </div>	<div data-bbox="739 311 1310 1284"> <p>【凡例】                      プラント状態                      操作、確認                      判断                      ……                      重大事故等対応設備</p> <p>第1.13-32図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種補給用）</p> </div>	<div data-bbox="1377 359 1982 1236"> <p>【凡例】                      操作、確認                      判断                      ……                      重大事故等対応設備</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（4/8）</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

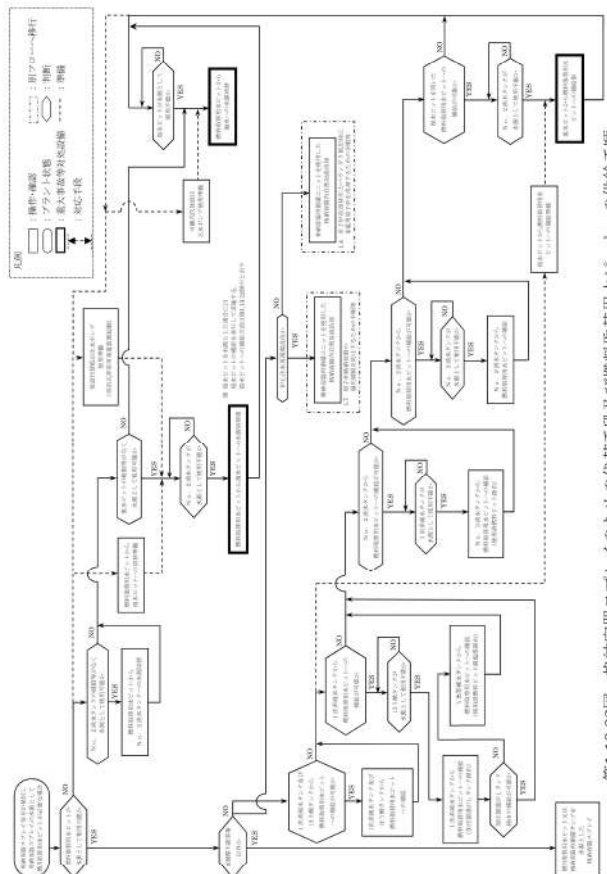
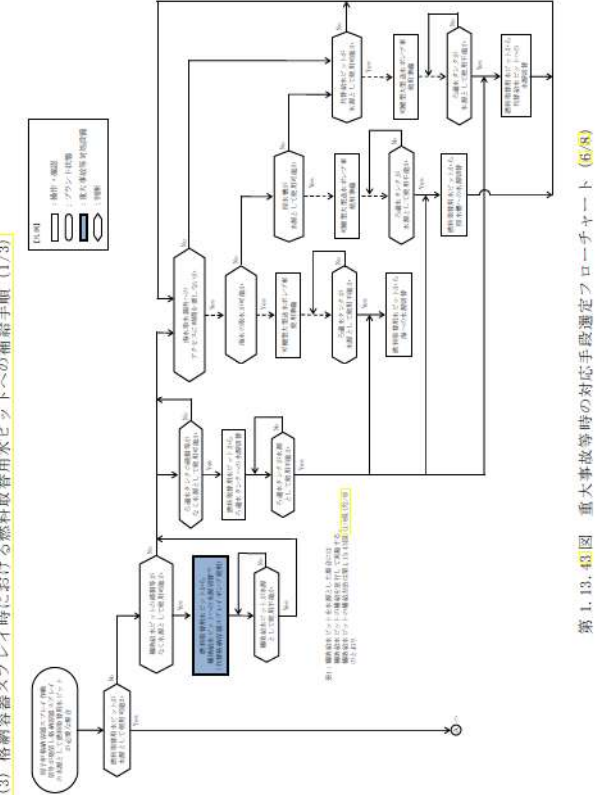
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 438 1937 1173" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">(2) 炉心注水時における燃料取替用水ピットへの灌給手順 (3/3)</p> <p style="text-align: right;">第 1.13.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (5/8)</p> </div>	<div data-bbox="2011 751 2163 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手順</p>		 <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (1/3)</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)</p>

第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (6/8)

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 740 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は                      大飯3/4号炉の第1.13.32図参照                 </div>		<div data-bbox="1377 414 1937 1173" style="text-align: center;"> <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (2/3)</p> </div>	<div data-bbox="1948 534 1982 1061" style="text-align: center;">                     第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (7/8)                 </div> <div data-bbox="2004 718 2161 837" style="text-align: center;">                     【大飯】                      記載方針の相違                      (女川審査実績の                      反映)                 </div>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は                      大飯3/4号炉の第1.13.32図参照                 </div>		<div data-bbox="1377 430 1982 1173" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">【注】 操作： 確認 ： 標準等対象設備 ： 相違 ： 相違 ： 相違</p> <p style="text-align: center;">(3) 格納容器スバイパス時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (3/3)</p> <p style="text-align: right;">第 1.13.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (8/8)</p> </div>	<div data-bbox="2004 750 2157 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     【大飯】                      設備の相違(相違理由⑥)                 </div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉				相違理由
【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】				添付資料1.13.1-(1)				
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)				審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)				
技術的能力審査基準 (L13)	番号	設置許可基準規則 (56条)	技術基準規則 (71条)	技術的能力審査基準 (L13)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)	
【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 1 発電用原子炉設置者において、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備から、想定される重大事故等に対するために必要な設備を設けなければならない。	①	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるように、想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。	【女川】 ・PWR と BWR に対する要求事項相違による附番の相違 ・審査基準の改正による記載内容の相違 【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成となっているため、本資料の比較対象は女川としている。
【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同程度の効果を行うための手順等をいう。	—	【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同程度の効果を生ずる措置を行うための設備をいう。	【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同程度の効果を生ずる措置を行うための設備をいう。	【解釈】 1 第1項に規定する「想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備から、想定される重大事故等に対するために必要な設備を設けなければならない」として、原子炉格納容器等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	—	【解釈】 1 第1項に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対するために必要な設備に供給されるまでの間、当該設備等に対するために必要な量の水をいう。	【解釈】 1 第1項に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対するために必要な設備に供給されるまでの間、当該設備等に対するために必要な量の水をいう。	
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	—	—	2 一次冷却材喪失時に原子炉格納容器に水を取り替える必要がある発電用原子炉施設には、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	2 一次冷却材喪失時に原子炉格納容器に水を取り替える必要がある発電用原子炉施設には、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器を水源とする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	
b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	a) 第1項に規定する「想定される重大事故等に対するための水源として必要な量の水を貯留するための設備」及び第2項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等に対するために必要な設備を確保すること、この場合において、以下の事項を考慮すること。	③	—	—	
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	1) 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもののをいう。）を利用してできるものとする。	④	—	—	
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	2) 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもののをいう。）を利用してできるものとする。	⑤	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもののをいう。）であって、想定される重大事故等に対するために必要な量の水を取水できるものとする。	3 第2項に規定する「海その他の水源」とは、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）の淡水源であって、第1項の設備に貯留されたもののをいう。）であって、想定される重大事故等に対するために必要な量の水を取水できるものとする。	
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	3) 各水源からの移送ルートが確保し、移送ホース、ポンプその他の設備を用いた水の供給ができるものとする。	⑥	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプその他の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	4 第2項の規定により設けられる設備は、同項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等に対するために必要な設備に供給するための移送ホース、ポンプその他の設備であって、当該各水源からの移送ルートが確保されたものでなければならない。	
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性は多様性を確保すること。(PWR)	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性は多様性を確保すること。(PWR)	4) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替えができるようにすること。	⑦	—	—	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	現設 新設	解釈 対応番号	自主対策				
				機器名称	現設 可能	所要時間	対応人数	備考
重大事故等時 に必要となる水の供給 手段	取水貯蔵タンク	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	ろ過水タンク	現設	—	—	—
	高圧代管注水系統（高圧代管注水ポンプ）	現設	—	ろ過水系統（ろ過水ポンプ）	現設	—	—	—
	原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却ポンプ）	現設	—					
	高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	現設	—					
	軽質軽油圧入系（軽質軽油圧入ポンプ）	現設	—					
	低圧代管注水系統（常設）（常設代管注水ポンプ）	現設	—					
	低圧代管注水系統（常設）（常設代管注水ポンプ）	現設	—					
	原子炉格納容器内冷却スプレー冷却系（常設）（常設冷却スプレーポンプ）	現設	—					
	原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	現設	—					
	原子炉格納容器上部注水系統（常設）（常設上部注水ポンプ）	現設	—					
原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	サブレーションタンク	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺					
	高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	現設	—					
	軽質軽油圧入系（軽質軽油圧入ポンプ）	現設	—					
	低圧炉心スプレー系（低圧炉心スプレー系ポンプ）	現設	—					
	代管注水ポンプ系（代管注水ポンプ）	現設	—					
	原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	現設	—					

※1：本条文【解釈】1 b)項を満足するための代替水源（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(2)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	現設 新設	解釈 対応番号	自主対策				
				機器名称	現設 可能	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
重大事故等時 に必要となる水の供給 手段	燃料取扱用ウォーター	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	ろ過水タンク	常設	—	—	自主対策とする理由は本文参照
	ろ過水ポンプ	現設	—	電動機駆動消火ポンプ	常設	—	—	—
	高圧注入ポンプ	現設	—	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	—	—	—
	代替格納容器スプレーポンプ	現設	—					
	格納容器スプレーポンプ	現設	—					
	全熱除去ポンプ	現設	—					
	燃料取扱用ウォーター	現設	—					
	—	—	—					
	—	—	—					
	—	—	—					
原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	補助給水ピット	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	1次系純水タンク	常設	—	—	自主対策とする理由は本文参照
	電動補助給水ポンプ	現設	—	1次系補助水ポンプ	常設	—	—	—
	ケービン駆動補助給水ポンプ	現設	—					
	90度傾斜水用高圧ポンプ	現設	—					
原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	—	—	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	2次系純水タンク	常設	—	—	自主対策とする理由は本文参照
	—	—	—	2次系補助水ポンプ	常設	—	—	—
原子炉格納容器下部注水系統（常設）（常設下部注水ポンプ）	—	—	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	脱気器タンク	常設	—	—	自主対策とする理由は本文参照
	—	—	—	電動主給水ポンプ	常設	—	—	—

【女川】  
 設備の相違による  
 対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の  
 反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	備考	
■	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	-	-	-	-	
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設						
	コース延長回収車	既設						
	貯留槽	既設						
	取水口	既設						
	取水船	既設						
	取水ポンプ等	既設						
	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設						
	燃料供給設備	既設						
	燃料代替注水系統（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	原子炉格納容器代替スプレイ注水系統（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	原子炉格納容器下置注水系統（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	原子炉格納容器直注注水系統（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	燃料プール代替注水系統（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等）	既設						-
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等）	既設						-
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等）	既設						-
	原子炉格納容器代替注水系統（大容量送水ポンプ（タイプ1）、熱交換機ユニット、コース延長回収車、ホース・送水用ヘッド・接続口等）	既設						-
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設						-
	コース延長回収車	既設						-
取水船	既設	-						
ホース	既設	-						
取水用車組集合装置	既設	-						
燃料供給設備	既設	-						

※1：本条【解釈】1 b)項を満足するための代替注水系統（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(4)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	備考
■	ほう殿タンク	既設	①③⑤⑦	-	-	-	-
	ほう殿ポンプ	既設					
	充てんポンプ	既設					
	格納容器再循環ポンプ	既設					
■	格納容器再循環ポンプ	既設	①③⑤⑦⑨	-	-	-	-
	B-格納容器スプレイポンプ	既設					
	A-高圧注入ポンプ	既設					
	可搬型大型送水ポンプ車	既設					
	ホース延長・回収車（送水車用）	既設					
	可搬型ホース・接続口	既設					
	非常用取水設備	既設					
	燃料供給設備	既設					
	全熱除去ポンプ	既設					
	高圧注入ポンプ	既設					
格納容器スプレイポンプ	既設						

【女川】  
設備の相違による  
対応手段の相違

【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）

・大飯の比較対象  
となる添付資料  
1.13.2は後段に  
掲載している。  
・泊は女川の審査  
実績を踏まえた  
構成としている  
ため、本資料の  
比較対象は女川  
としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	現設新設	解釈 対応番号	対応手段	自主対策				
					機器名称	現設 可設	所要時間	対応人数	備考
はらう取水ポンプ（はらう取水ポンプ）	はらう取水ポンプ（はらう取水ポンプ）	現設	①②③④	—	ろ過水タンク	現設	—	—	—
	ろ過水タンク	現設							
取水ポンプ（取水ポンプ）	取水ポンプ（取水ポンプ）	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	ろ過水タンク	現設	380分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
取水ポンプ（取水ポンプ）	取水ポンプ（取水ポンプ）	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	ろ過水タンク	現設	40分	5名	自主対策設備とする理由は本文参照
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							
	ろ過水タンク	現設							

※1：本条文【解釈】1.b)項を満足するための代替淡水源（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(5)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	機器名称	現設新設	解釈 対応番号	対応手段	自主対策				
					機器名称	現設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
可設型大型送水ポンプ（可設型大型送水ポンプ）	燃料取替用水ビット	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	取水槽	現設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	可設型大型送水ポンプ車	現設			ろ過水タンク	現設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	現設			2次系補水タンク	現設			
	可設型ホース・接続口	現設			燃料取替用水ビット	現設			
	非常用冷却設備（配管・弁）	現設			可設型大型送水ポンプ車	可設			
	非常用取水設備	現設			可設型ホース・接続口	可設			
	燃料補助設備	現設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
					非常用冷却設備（配管・弁）	現設			
					給水処理設備（配管・弁）	現設			
					燃料補助設備	現設			
					燃料補助設備	可設			
可設型大型送水ポンプ（可設型大型送水ポンプ）	代替給水ビット	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	代替給水ビット	現設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	燃料取替用水ビット	現設			燃料取替用水ビット	現設			
	可設型大型送水ポンプ車	現設			可設型大型送水ポンプ車	可設			
	可設型ホース・接続口	現設			可設型ホース・接続口	可設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	現設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
	非常用冷却設備（配管・弁）	現設			非常用冷却設備（配管・弁）	現設			
	燃料補助設備	現設			燃料補助設備	現設			
					燃料補助設備	現設			
					燃料補助設備	可設			
					燃料補助設備	可設			
					燃料補助設備	可設			
可設型大型送水ポンプ（可設型大型送水ポンプ）	ろ過水タンク	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	—	ろ過水タンク	現設	30分	2名	自主対策とする理由は本文参照
	燃料取替用水ビット	現設			燃料取替用水ビット	現設			
	電動機駆動消火ポンプ	現設			電動機駆動消火ポンプ	現設			
	ディーゼル駆動消火ポンプ	現設			ディーゼル駆動消火ポンプ	現設			
	消防ホース	現設			消防ホース	可設			
	大気防護設備（消火栓設備）（配管・弁）	現設			大気防護設備（消火栓設備）（配管・弁）	現設			
	給水処理設備（配管・弁）	現設			給水処理設備（配管・弁）	現設			
	常用電源設備	現設			常用電源設備	現設			
					常用電源設備	現設			
					常用電源設備	現設			
					常用電源設備	現設			

【女川】  
 設備の相違による  
 対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の  
 反映）  
 ・大飯の比較対象  
 となる添付資料  
 1.13.2は後段に  
 掲載している。  
 ・泊は女川の審査  
 実績を踏まえた  
 構成としている  
 ため、本資料の  
 比較対象は女川  
 としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)

審査基準		重大事故等対処設備		重大事故等対処設備 (設計基準拡張)		自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	備考	
女川	1次系純水タンク	新設		①2号炉内での冷却							
	1次系補給水ポンプ	新設									
	2次系	新設									
	2次系純水ポンプ (No. 1) 等1	新設									
	2次系純水ポンプ (No. 2) 等1	新設									
	貯留槽	既設									
	配管口	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
大飯	1次系純水タンク	新設		①2号炉内での冷却							
	1次系補給水ポンプ	新設									
	2次系	新設									
	2次系純水ポンプ (No. 1) 等1	新設									
	2次系純水ポンプ (No. 2) 等1	新設									
	貯留槽	既設									
	配管口	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
女川	1次系純水タンク	既設	①2号	①2号							
	2次系	既設									
	2次系純水ポンプ (No. 1) 等1	既設									
	2次系純水ポンプ (No. 2) 等1	既設									
	貯留槽	既設									
	配管口	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
大飯	1次系純水タンク	既設		①2号							
	2次系	既設									
	2次系純水ポンプ (No. 1) 等1	既設									
	2次系純水ポンプ (No. 2) 等1	既設									
	貯留槽	既設									
	配管口	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									
	燃料補給設備	既設									

※1：本条文【解釈】1) b)項を満足するための代替減水機（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(6)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備 (設計基準拡張)

審査基準		重大事故等対処設備		重大事故等対処設備 (設計基準拡張)		自主対策				
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	備考
女川	1次系純水タンク	常設		使用済燃料ピット浄化ライン理由：65分	1次系純水タンク	常設		加圧器逃がしタンク理由：35分	1次系純水タンク	常設
	燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設
	1次系補給水ポンプ	常設			1次系補給水ポンプ	常設			1次系補給水ポンプ	常設
	加圧器逃がしタンク	常設			加圧器逃がしタンク	常設			加圧器逃がしタンク	常設
	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設			格納容器冷却材ドレンポンプ	常設			格納容器冷却材ドレンポンプ	常設
	1次冷却設備 配管・弁	常設			1次冷却設備 配管・弁	常設			1次冷却設備 配管・弁	常設
	化学体積制御設備 配管・弁	常設			化学体積制御設備 配管・弁	常設			化学体積制御設備 配管・弁	常設
	給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設
	液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設			液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設			液体廃棄物処理設備 配管・弁	常設
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設
大飯	1次系純水タンク	常設		65分	1次系純水タンク	常設		30分	1次系純水タンク	常設
	燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設
	2次系純水ポンプ	常設			2次系純水ポンプ	常設			2次系純水ポンプ	常設
	使用済燃料ピット	常設			使用済燃料ピット	常設			使用済燃料ピット	常設
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設
	常用電源設備	常設			常用電源設備	常設			常用電源設備	常設
	非常用交流電源設備	常設			非常用交流電源設備	常設			非常用交流電源設備	常設
	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設			格納容器冷却材ドレンポンプ	常設			格納容器冷却材ドレンポンプ	常設
	加圧器逃がしタンク	常設			加圧器逃がしタンク	常設			加圧器逃がしタンク	常設
	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設			燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	常設
女川	1次系純水タンク	常設		30分	1次系純水タンク	常設		30分	1次系純水タンク	常設
	ほうろくタンク	常設			ほうろくタンク	常設			ほうろくタンク	常設
	燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設			燃料取扱用ピット	常設
	1次系補給水ポンプ	常設			1次系補給水ポンプ	常設			1次系補給水ポンプ	常設
	ほうろくポンプ	常設			ほうろくポンプ	常設			ほうろくポンプ	常設
	化学体積制御設備 配管・弁	常設			化学体積制御設備 配管・弁	常設			化学体積制御設備 配管・弁	常設
	非常用炉心冷却設備 配管	常設			非常用炉心冷却設備 配管	常設			非常用炉心冷却設備 配管	常設
	給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設
	常用電源設備	常設			常用電源設備	常設			常用電源設備	常設
	非常用交流電源設備	常設			非常用交流電源設備	常設			非常用交流電源設備	常設

【女川】  
設備の相違による  
対応手段の相違

【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の  
反映)

・大飯の比較対象  
となる添付資料  
1.13.2は後段に  
掲載している。  
・泊は女川の審査  
実績を踏まえた  
構成としている  
ため、本資料の  
比較対象は女川  
としている。

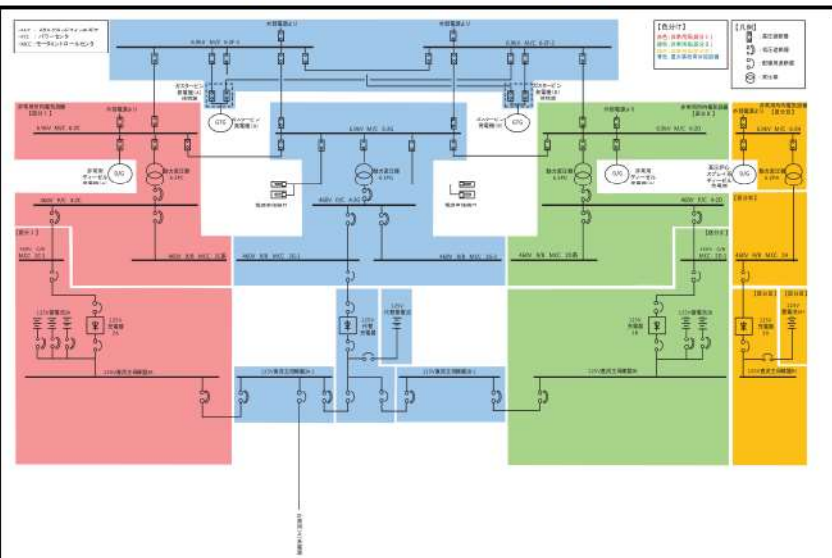
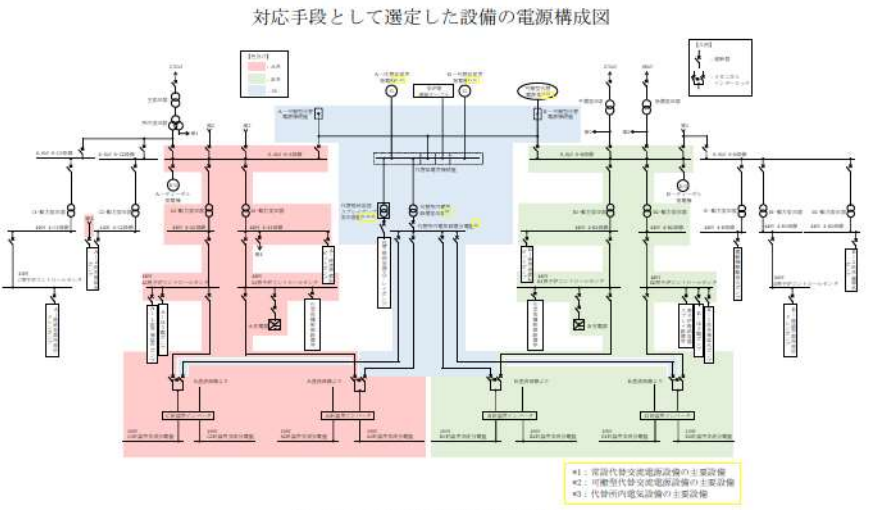
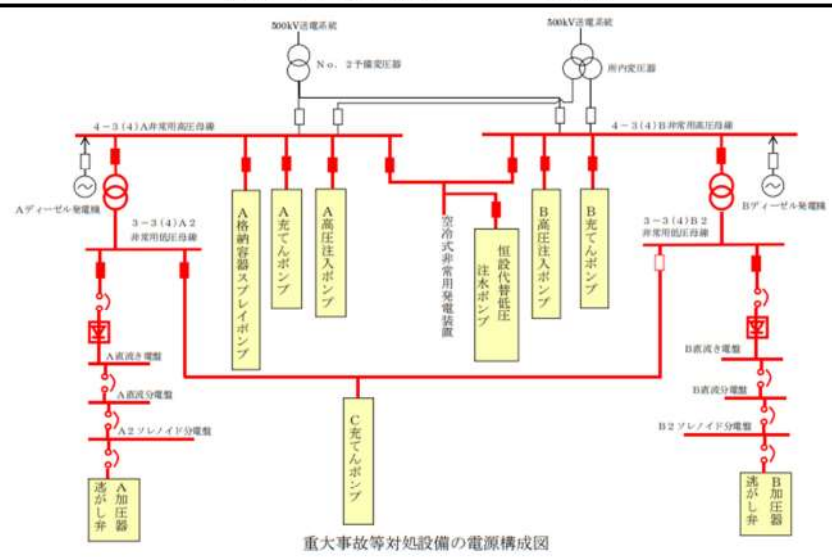


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																					
	添付資料1.13.1-(8)																																																																																																																																							
	審査基準，基準規則と対処設備との対応表（8/8）																																																																																																																																							
	<span style="background-color: #ccccff; border: 1px solid black; padding: 2px;">        </span> ：重大事故等対処設備 <span style="background-color: #e0e0e0; border: 1px solid black; padding: 2px;">        </span> ：重大事故等対処設備（設計基準拡張）																																																																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: left;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: left;">自主対策</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">既設 新設</th> <th style="width: 5%;">解説 対応 番号</th> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">常設 可能</th> <th style="width: 5%;">必要時間内に 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16" style="vertical-align: top;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: top;">燃料取替用水ピットから1次系補水タンクへ（1次系補水）</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">10分</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">1名</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>1次系補水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>ほう酸タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>1次系補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>飽てんポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>再生熱交換器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>既設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可能</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレインゾル</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレイリング</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可能	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピットから1次系補水タンクへ（1次系補水）	燃料取替用水ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ピット	既設	1次系補水タンク	常設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	ほう酸タンク	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設	1次系補助給水ポンプ	常設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設	ほう酸ポンプ	常設	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設	飽てんポンプ	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設	再生熱交換器	常設	原子炉容器	既設	給水処理設備 配管・弁	常設	1次冷却設備	既設	化学体積制御設備 配管・弁	常設	非常用交流電源設備	既設 新設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	常設代替交流電源設備	既設 新設	1次冷却設備	常設	可搬型代替交流電源設備	既設 新設	原子炉容器	常設	代替所内電気設備	既設 新設	常用電源設備	常設	燃料取替用水ピット	既設	非常用交流電源設備	常設	補助給水ピット	既設	常設代替交流電源設備	常設 可能	代替格納容器スプレイポンプ	新設	所内常設蓄電式直流電源設備	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			スプレインゾル	既設			スプレイリング	既設			原子炉格納容器	既設			非常用交流電源設備	既設 新設			常設代替交流電源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	既設 新設			代替所内電気設備	既設 新設			—	—			
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																				
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可能	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																															
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取替用水ピットから1次系補水タンクへ（1次系補水）	燃料取替用水ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																															
	補助給水ピット	既設			1次系補水タンク	常設																																																																																																																																		
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			ほう酸タンク	常設																																																																																																																																		
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			1次系補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																		
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			ほう酸ポンプ	常設																																																																																																																																		
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設			飽てんポンプ	常設																																																																																																																																		
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			再生熱交換器	常設																																																																																																																																		
	原子炉容器	既設			給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																		
	1次冷却設備	既設			化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																		
	非常用交流電源設備	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																		
	常設代替交流電源設備	既設 新設			1次冷却設備	常設																																																																																																																																		
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設			原子炉容器	常設																																																																																																																																		
	代替所内電気設備	既設 新設			常用電源設備	常設																																																																																																																																		
	燃料取替用水ピット	既設			非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																		
	補助給水ピット	既設			常設代替交流電源設備	常設 可能																																																																																																																																		
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			所内常設蓄電式直流電源設備	常設																																																																																																																																		
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
スプレインゾル	既設																																																																																																																																							
スプレイリング	既設																																																																																																																																							
原子炉格納容器	既設																																																																																																																																							
非常用交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
可搬型代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
代替所内電気設備	既設 新設																																																																																																																																							
—	—																																																																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: left;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: left;">自主対策</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">既設 新設</th> <th style="width: 5%;">解説 対応 番号</th> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">常設 可能</th> <th style="width: 5%;">必要時間内に 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16" style="vertical-align: top;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: top;">電機補助給水ポンプ</td> <td>補助給水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">40分</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">2名</td> <td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td>2次系補水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>既設</td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可能</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td>所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレインゾル</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スプレイリング</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可能	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	電機補助給水ポンプ	補助給水ピット	常設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ピット	既設	2次系補水タンク	常設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	電動補助給水ポンプ	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設	タービン動補助給水ポンプ	常設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設	2次冷却設備（給水設備）配管	常設	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設	給水処理設備 配管・弁	常設	原子炉容器	既設	蒸気発生器	常設	1次冷却設備	既設	非常用交流電源設備	常設	非常用交流電源設備	既設 新設	常設代替交流電源設備	常設 可能	常設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電式直流電源設備	常設	可搬型代替交流電源設備	既設 新設			代替所内電気設備	既設 新設			燃料取替用水ピット	既設			補助給水ピット	既設			代替格納容器スプレイポンプ	新設			2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			スプレインゾル	既設			スプレイリング	既設			原子炉格納容器	既設			非常用交流電源設備	既設 新設			常設代替交流電源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	既設 新設			代替所内電気設備	既設 新設			—	—			
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																				
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可能	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																															
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ（取水）	燃料取替用水ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	電機補助給水ポンプ	補助給水ピット	常設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																															
	補助給水ピット	既設			2次系補水タンク	常設																																																																																																																																		
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			電動補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																		
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			タービン動補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																		
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																		
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設			2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																		
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																		
	原子炉容器	既設			蒸気発生器	常設																																																																																																																																		
	1次冷却設備	既設			非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																		
	非常用交流電源設備	既設 新設			常設代替交流電源設備	常設 可能																																																																																																																																		
	常設代替交流電源設備	既設 新設			所内常設蓄電式直流電源設備	常設																																																																																																																																		
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																						
	代替所内電気設備	既設 新設																																																																																																																																						
	燃料取替用水ピット	既設																																																																																																																																						
	補助給水ピット	既設																																																																																																																																						
	代替格納容器スプレイポンプ	新設																																																																																																																																						
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																							
スプレインゾル	既設																																																																																																																																							
スプレイリング	既設																																																																																																																																							
原子炉格納容器	既設																																																																																																																																							
非常用交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
可搬型代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																							
代替所内電気設備	既設 新設																																																																																																																																							
—	—																																																																																																																																							
	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>																																																																																																																																							

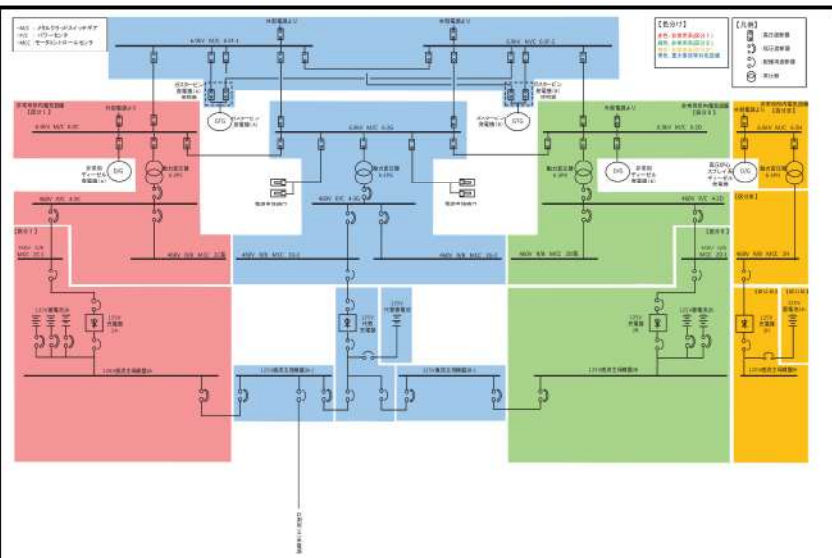
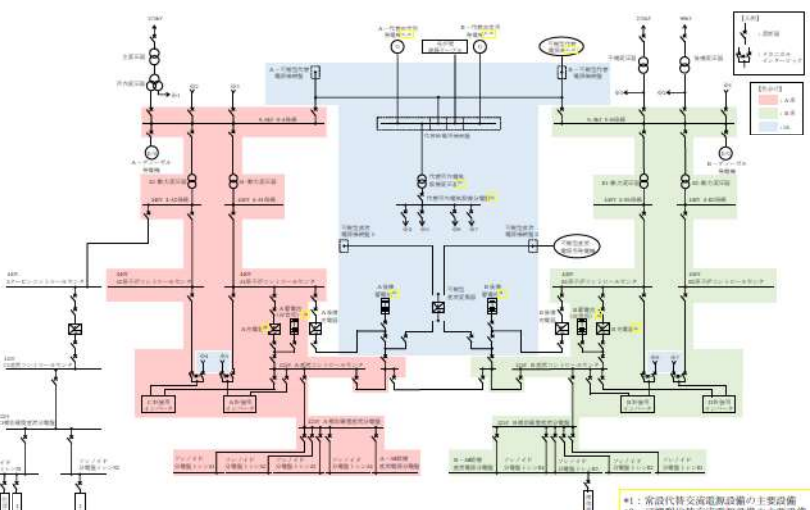
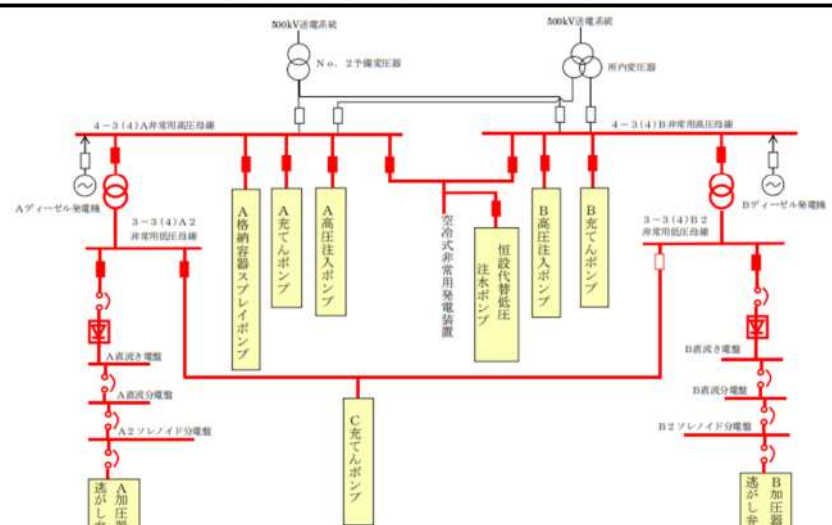


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2-(1)</p> <p>対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p>第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>①：背負代替交流電源設備の主要設備                  ②：可搬型代替交流電源設備の主要設備                  ③：代替用内蔵電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】                  設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・泊は交流と直流で分割                  ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</p>
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p>		

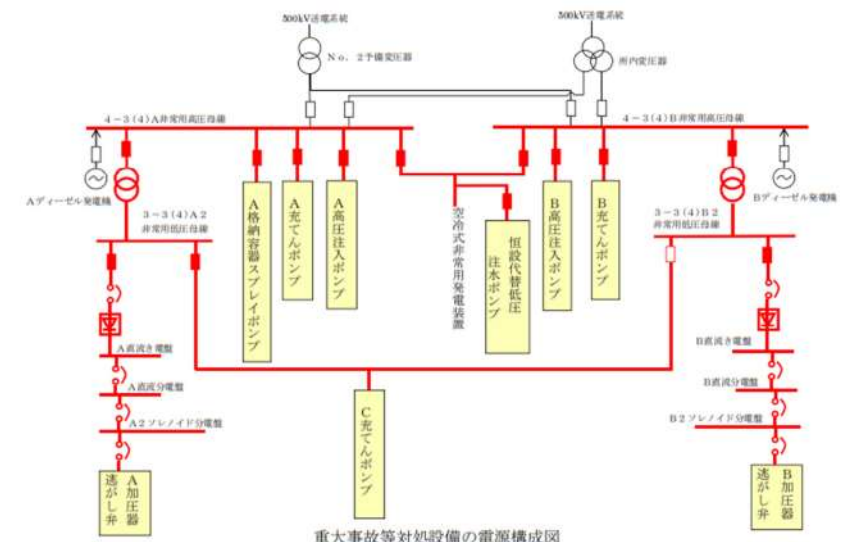


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p>	<p>添付資料1.13.2-(2)</p>  <p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>※1：省設代替交流電源設備の主要設備              ※2：可搬型代替交流電源設備の主要設備              ※3：代替所内電気設備の主要設備              ※4：所内設置蓄電式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は交流と直流で分割</li> <li>・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</li> </ul>
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.1</p>  <p style="text-align: center;">重大事故等対処設備の電源構成図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較表 p 1.13-540 から p 1.13-541 にて比較</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

添付資料 1.13.2-(1)

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

項目	設備名	設備の概要	設置場所		設置時期		設備の仕様		備考
			種別	種別	種別	種別	種別	種別	
1. 炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料1.13.1参照

添付資料 1.13.2-(2)

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

項目	設備名	設備の概要	設置場所		設置時期		設備の仕様		備考
			種別	種別	種別	種別	種別	種別	
1. 炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備
	炉内設備	炉内設備	炉内	炉内	2011年	2011年	炉内	炉内	炉内設備

記載方針の相違  
 (女川審査実績の  
 反映)  
 ・大飯の比較対象  
 となる泊の添付  
 資料 1.13.1 は  
 前段で整理して  
 いる。  
 ・泊は女川の審査  
 実績を踏まえた  
 構成としている  
 ため、本資料の  
 比較対象は女川  
 としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料 1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						記載表現の相違 （女川審査実績の 反映） ・多様性拡張設備 から自主対策設 備に変更。 ・設備名称のため 中央及び現場手 動操作の記載を 削除  設備の相違(相違 理由①)
機器名称	常設/ 可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設/ 可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
No. 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約 140m <sup>3</sup> /h	約 950m	2台	タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m <sup>3</sup> /h	約900m	1台	
タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約 250m <sup>3</sup> /h	約 950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m <sup>3</sup> /h	約900m	2台	
A、B 2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m <sup>3</sup>	—	2基	代替給水ピット	常設	Cクラス	約473m <sup>3</sup>	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約 220m <sup>3</sup> /h	約 140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m <sup>3</sup> /h	吐出圧力 約1.3MPa [gage]	4台+予備2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約 600m <sup>3</sup>	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m <sup>3</sup>	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約 3,300m <sup>3</sup> /h	約 620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	2基	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	約2,000m <sup>3</sup>	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m <sup>3</sup> /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m <sup>3</sup> /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m <sup>3</sup> /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m <sup>3</sup>	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m <sup>3</sup>	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m <sup>3</sup> /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m <sup>3</sup>	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約 100m <sup>3</sup>	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約 17m <sup>3</sup> /h	80m	2台	A、B 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 45m <sup>3</sup> /h	1,770m	2台	
A、B 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 45m <sup>3</sup> /h	1,770m	2台	C 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 14m <sup>3</sup> /h	—	1台	
C 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 14m <sup>3</sup> /h	—	1台	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m <sup>3</sup>	—	1基	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m <sup>3</sup>	—	1基	格納容器冷却材 ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	90m	2台	
格納容器冷却材 ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	90m	2台	使用済燃料ピット ポンプ	常設	Bクラス	約 546m <sup>3</sup> /h	60m	2台	
使用済燃料ピット ポンプ	常設	Bクラス	約 546m <sup>3</sup> /h	60m	2台	格納容器再循環サン プ	常設	Sクラス	—	—	2基	
格納容器再循環サン プ	常設	Sクラス	—	—	2基	格納容器再循環サン プ スクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基	
格納容器再循環サン プ スクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基	A 余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約 1,020m <sup>3</sup> /h	約 91m	1台	
A 余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約 1,020m <sup>3</sup> /h	約 91m	1台	ポンプ車	可搬	—	120m <sup>3</sup> /h	85m	1台	
ポンプ車	可搬	—	120m <sup>3</sup> /h	85m	1台							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等



大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、<b>炉心冷却</b>、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を<b>送水車</b>で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、<b>大容量ポンプ</b>を使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、<b>送水ポンプ</b>及び<b>送水ホース</b>には影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、<b>発電用原子炉の冷却</b>、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>を使用して海水を原子炉補機冷却<b>水系</b>へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>及び<b>可搬型ホース</b>には影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>記載表現の相違              (女川審査実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等）: 21分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="1173 991 1487 1228" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div data-bbox="1547 991 1861 1228" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑨)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため、操作の成立性について記載している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ビットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      No. 3淡水タンクを水源とした、復水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名/ユニット                      操作時間(想定) : 15分                      操作時間(実績) : 8分(現場移動時間を含む。)</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名                      操作時間(想定) : 25分                      操作時間(訓練実績等) : 12分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、各水源から復水ビットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>・泊は、各水源から補助給水ビットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様)</li> </ul> <p>設備の相違(相違理由①)</p> <p>記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業場所の追加</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。(女川と同様)</li> <li>・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。(伊方、玄海と同様)</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。              また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="322 504 797 826" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="392 850 725 906">復水ピット補給弁開操作              (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。              操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1346 523 1684 778" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1413 788 1615 855">補助給水ピット供給              ライン系統構成              (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p>	<p>記載表現の相違              (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス性を移動経路と記載する。</li> <li>・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。</li> <li>・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。</li> <li>・防護具は必要に応じて着用する記載としている。</li> <li>・連絡手段の記載充実。</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p><b>【No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給】</b></p> <p>1. 作業概要                      No. 2 淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：45分                      作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 846 914"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 935 553 1062"> <p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div data-bbox="602 935 768 1062"> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> </div> <div data-bbox="385 1098 553 1225"> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> </div> <div data-bbox="602 1098 768 1225"> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> </div> <div data-bbox="385 1268 553 1396"> <p>⑤ 可搬型ホース敷設</p> </div> <div data-bbox="602 1268 768 1396"> <p>⑥ 復水ピット入口扉</p> </div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="439 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.10.3m        屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="439 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間（想定） : 40分        操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1355 965 1675 1209" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピットへの補給        系統構成        (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="439 762 689 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要                  2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所                  屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数 : 3名                  作業時間（想定） : 180分                  作業時間（訓練実績等）：135分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                  移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。                  作業性 : 可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.33.1m        屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間（想定） : 40分        操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1355 965 1675 1209" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから        補助給水ピットへの補給系統構成        (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      海水を復水ピットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：5名/ユニット                      作業時間(想定)：3.4時間                      作業時間(実績)：3.4時間以内(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。建屋入口扉の配置を「建屋入口扉へのアクセス箇所」に示す。                      また、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話(アイサットフォン)を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。)]</p> <p>1. 作業概要                      海水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所                      周辺補機棟 T.P.33.1m, T.P.10.3m                      屋外(海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺)</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：6名                      作業時間(想定)：200分                      作業時間(訓練実績等)：160分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性                      移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。                      屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車(送水車用)を使用することから、容易に実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。                      海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違                      ・大飯は添付資料1.5.6の中で水中ポンプ設置の記載をしている。                      泊は各添付資料にて記載する。                      記載内容は同様である。                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違                      ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。(伊方3号炉同様)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違                      ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違                      ・泊は結合金具式である。(女川同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="369 151 772 183">建屋入口扉へのアクセス箇所（3号炉の例）</p> <div data-bbox="145 199 996 678" style="border: 2px solid black; height: 300px; width: 100%;"></div> <div data-bbox="403 678 985 710" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<div data-bbox="1377 774 1646 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         比較対象なし                     </div>	<p data-bbox="2004 135 2116 159">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="2004 167 2139 311">・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉				相違理由
3号炉	海水ポンプ室前～復水ビット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	
			150mm						
			200mm						
	吉見橋付近～復水ビット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統	
			150mm						
			200mm						
	放水路ビット～復水ビット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本					
			150mm						
			200mm						
	放水路ビット～復水ビット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本					
			150mm						
			200mm						
4号炉	海水ポンプ室前～復水ビット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本					
			150mm						
			200mm						
	吉見橋付近～復水ビット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本					
			150mm						
			200mm						
	放水路ビット～復水ビット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本					
			150mm						
			200mm						
	放水路ビット～復水ビット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本					
			150mm						
			200mm						



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続（接続前）



③ 可搬型ホース接続（接続後）



④ 復水ビット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ビット

②、③の写真はイメージ

可搬型ホース敷設箇所

敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外)



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外)



可搬型ホース（150A）接続前



可搬型ホース（150A）接続後



可搬型大型送水ポンプ車の設置  
ポンプ車周辺のホース敷設  
(屋外)




海水取水箇所への水中ポンプ設置  
(屋外)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間（想定） : 40分        操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1355 965 1675 1209" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ビットへの補給        系統構成        (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後、系統構成を実施する必要がある。        （伊カ3号炉同様）</li> </ul>






赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要                      燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ ベンディングホース接続 （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水・原子炉格納容器内へのスプレー)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要                  炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                  [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合]                  必要要員数：2名/ユニット                  操作時間（想定）：35分                  操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）                  [充てんポンプの水源とする場合]                  必要要員数：2名/ユニット                  操作時間（想定）：35分                  操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                  アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                  操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)      ② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉容器への注水・原子炉格納容器内へのスプレー)</p> <p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                  燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m                  原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  (1) 原子炉容器への注水時                  必要要員数：2名                  操作時間（想定）：35分                  操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                  (2) 原子炉格納容器内へのスプレー時                  必要要員数：2名                  操作時間（想定）：30分                  操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット                  水源切替系統構成                  (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレーで別の添付資料を作成している。</li> <li>・泊は、代替格納容器スプレーポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレーで共通の成立性を記載する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要                      格納容器スプレイのため、燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ビット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ビット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。</li> <li>・泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等













大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ビットから燃料取替用水ビット間の<b>ディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性</b>について</p> <p>復水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため<b>ディスタンスピース</b>による隔離を選択した。</p> <p><b>【ディスタンスピースの必要性】</b>                  ○復水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として<b>信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより</b>、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】</b>                  ○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、<b>適切な工具を使用すれば</b>、容易かつ確実に作業が可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、<b>ダブルチェックにより確実に実施可能である</b>。                  ○さらに、<b>訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について</b>、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. ディスタンスピースの必要性                  復水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として<b>信頼性の高いディスタンスピースを設置した</b>。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、<b>ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く</b>、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、放射性物質を含む系統と接続しているものの、<b>非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている</b>。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ビットから燃料取替用水ビット間の<b>接続配管</b>について</p> <p>補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため<b>直列に2個設置した隔離弁</b>による隔離を選択した。</p> <p><b>【補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離】</b>                  補助給水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として<b>直列に2個設置した隔離弁</b>により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【切替えの容易性】</b>                  運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、確実に実施可能である。                  さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、<b>通常時に行う弁操作経験を積むことにより</b>、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. 補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離                  補助給水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として<b>隔離弁を直列に2個設置した</b>。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、<b>直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時開閉操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施錠管理をすることで誤操作を防止できることから</b>、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている。</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮                  泊3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下の通りとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管                  放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1220 446 1836 790"> <thead> <tr> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</th> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(逆止め弁)</td> <td>第30条 (逆止め弁)</td> </tr> <tr> <td>第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red;">既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1097 901 1960 1157"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">既設の例<sup>※</sup></td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁および空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器透がしタンク</td> <td rowspan="2">原子炉補給水系統（1次系純水）</td> <td>加圧器透がしタンク減圧用</td> <td>0.7MPa/170℃</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4MPa/65℃</td> <td>空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>体積制御タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td>水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃</td> <td>逆止弁 手動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置</td> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ駆動用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>補助給水ビット側 逆止弁および手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※：他にも、タンク等へに供給（2次系純水）およびカバーガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</small></p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈	(逆止め弁)	第30条 (逆止め弁)	第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例 <sup>※</sup>	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）	加圧器透がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器透がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁		1.4MPa/65℃	空気作動弁（1個）	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）	今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ駆動用	0MPa/95℃	補助給水ビット側 逆止弁および手動弁（1個）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">設備の相違（相違理由②）</div>
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈																																						
(逆止め弁)	第30条 (逆止め弁)																																						
第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																																						
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																																		
既設の例 <sup>※</sup>	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）																																		
	加圧器透がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器透がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁																																		
				1.4MPa/65℃	空気作動弁（1個）																																		
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）																																		
今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ駆動用	0MPa/95℃	補助給水ビット側 逆止弁および手動弁（1個）																																		

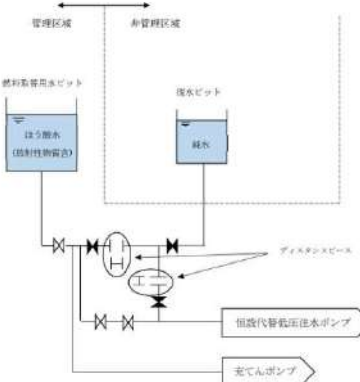
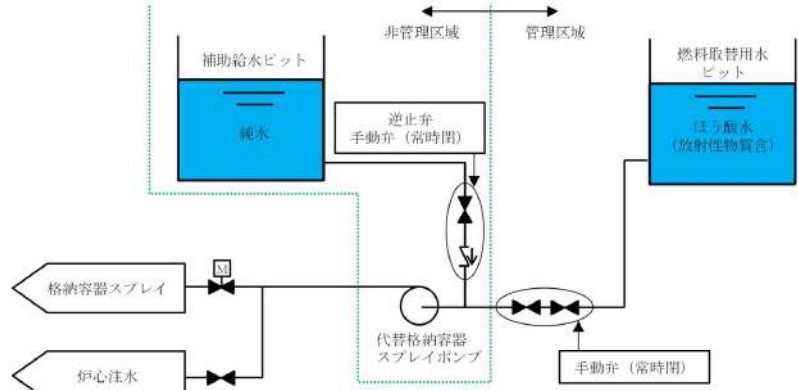


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p>泊3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクに補給する配管がある。この場合は、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない系統に誤って漏えいすることを防止するため、直列に2個設置した隔離弁で隔離を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="1097 319 1948 446"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピット</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水系統</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p> <table border="1" data-bbox="1097 766 1948 1165"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の塊み込みによるシーリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容</td> <td>ディスタンスピース取替作業 ※操作（2箇所）</td> <td>手動弁（2箇所）</td> <td>スプールピース取替作業 ※操作（2箇所）</td> <td>カバー接続作業 ※操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>詳細</td> <td>※操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>※操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>※操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>※操作に加えてカバー接続作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁	0.98MPa/65℃	手動弁	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）		ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の塊み込みによるシーリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 ※操作（2箇所）	手動弁（2箇所）	スプールピース取替作業 ※操作（2箇所）	カバー接続作業 ※操作（2箇所）	詳細	※操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	※操作のみであり、作業性に優れる	※操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	※操作に加えてカバー接続作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																																														
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁																																														
			0.98MPa/65℃	手動弁																																														
代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）																																														
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																																														
概要図																																																		
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の塊み込みによるシーリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の侵入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																																														
作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 ※操作（2箇所）	手動弁（2箇所）	スプールピース取替作業 ※操作（2箇所）	カバー接続作業 ※操作（2箇所）																																													
	詳細	※操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	※操作のみであり、作業性に優れる	※操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	※操作に加えてカバー接続作業が必要のため、手動弁より劣る																																													
評価結果	○	◎	○	○																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="309 146 810 651" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="324 667 750 686">復水ビットから燃料取替用水ビット間ディスタンスピース設置箇所（1/2）</p> <div data-bbox="497 705 1012 737" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>  <p data-bbox="353 1257 772 1276">復水ビットから燃料取替用水ビット間ディスタンスピース設置箇所（2/2）</p>	<div data-bbox="1108 159 1960 750" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1254 762 1803 782">補助給水ビットから燃料取替用水ビット間弁設置箇所（1/2）</p>  <p data-bbox="1254 1241 1803 1260">補助給水ビットから燃料取替用水ビット間弁設置箇所（2/2）</p> <div data-bbox="1377 1279 1948 1311" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p data-bbox="2004 762 2139 813">設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

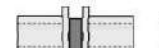


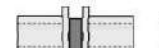

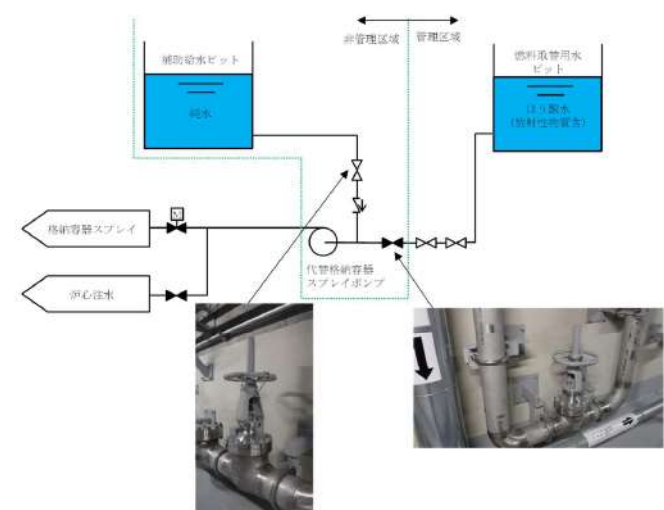
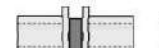

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p data-bbox="1070 145 1704 167">(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理</p> <p data-bbox="1088 172 1964 225">放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1095 272 1951 501"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁点検内容</th> <th>頻度(回/定規)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常圧タンク 管系ガスライン</td> <td rowspan="2">4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td rowspan="2">0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃</td> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">既設の例 化学体積補給タンク 本番ガスライン</td> <td rowspan="3">0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(ゴムダイヤフラム弁)</td> <td>分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン</td> <td rowspan="2">1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン</td> <td rowspan="2">0MPa/95℃</td> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(仕切弁)</td> <td></td> <td>(検計中)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1070 552 1964 632">なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度(回/定規)	常圧タンク 管系ガスライン	4.9MPa/132℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	空気作動弁(玉形弁)		1/6	加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	逆止弁(スイング式)		1/6	既設の例 化学体積補給タンク 本番ガスライン	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7				燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/20			1/10	今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	0MPa/95℃	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	手動弁(仕切弁)		(検計中)	<div data-bbox="2002 762 2150 815" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設備の相違（相違理由②）</div>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度(回/定規)																																														
常圧タンク 管系ガスライン	4.9MPa/132℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																														
		空気作動弁(玉形弁)		1/6																																														
加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																														
		逆止弁(スイング式)		1/6																																														
既設の例 化学体積補給タンク 本番ガスライン	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																														
		手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7																																														
燃料取扱用水ヒートからの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	1.4MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/20																																														
				1/10																																														
今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	0MPa/95℃	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																														
		手動弁(仕切弁)		(検計中)																																														




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <p>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</p> <p>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</p> <p>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止用⇒通水用)</p> <p>④ボルト取付け及びボルト締付け</p> <p>〔ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。〕</p> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div data-bbox="291 702 716 861"> <table border="1"> <tr> <th>通常時</th> <th>使用時</th> </tr> <tr> <td>ディスタンスピース (閉止用)</td> <td>ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="257 877 851 1013">  </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)			<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <p>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</p> <p>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</p> <div data-bbox="1209 430 1870 941">  </div>	<p>設備の相違(相違理由②)</p>
通常時	使用時							
ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)							
								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片口メガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 300 828 466"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片口メガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 481 555 619"> <p>片口メガネレンチ(30mm)</p>  </div> <div data-bbox="560 481 857 619"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p>  </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="257 791 857 963"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="300 991 589 1110"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p>  </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片口メガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="2002 762 2150 815" style="background-color: yellow; padding: 2px;"> <p>設備の相違（相違理由②）</p> </div>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片口メガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討							
概略図							
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。		閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。		
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれは少ない。	△	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きくなり、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。 ボルトは8本中4本は取り外さない。	◎	引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。	×	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。	×	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。
評価	◎	×	×	×	×		
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>							
比較対象なし							設備の相違（相違理由②）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。</li> <li>○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。</li> </ul> <div data-bbox="342 300 647 699" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="336 722 707 750">ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <div data-bbox="598 767 781 815" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">                 写真はイメージ             </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     比較対象なし                 </div>	<div data-bbox="1993 762 2143 815" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">                     設備の相違（相違理由②）                 </div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ビット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p> <div data-bbox="286 264 875 708"> </div> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p> <div data-bbox="264 829 855 1278"> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 比較対象なし             </div>	<div data-bbox="2002 762 2150 815" style="background-color: yellow; padding: 2px;">                 設備の相違（相違理由②）             </div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部より抜き出す。</li> </ul> 		
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に載せるだけで位置決め完了。（シート面を傷つけないよう注意する。）</li> </ul> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>④ 締め付けボルト取付け及び締め付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・締め付けボルト取付け（8本中上部4本取付け）</li> <li>・片締めにならないよう対角に締め付ける。</li> </ul> <div data-bbox="264 247 855 694" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボルトをフランジに取付け、ガスケットの圧縮率に注意しながらナットを締める。</p>  <p>ボルトナットの取付け</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを締める。</p> <p>30mmの六角レンチ(30mm)で一方のナットを固定する。</p> <p>ボルト締め付け時は、手順①で記録した値を参考にする。また、そのフランジ幅幅がガスケット圧縮率の規定値を満たしていることを直尺で確認する。</p> <p>フランジ幅幅確認値              戻り側...目標22.0mm              (21.5mm~22.5mm)</p> </div>	<div data-bbox="1388 758 1646 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 比較対象なし             </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>






赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：20分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.10.3m (中間床)</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m (中間床))</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>・泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様)</li> <li>・以下、添付資料1.13.12～19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料1.13.8-(3)を再掲</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ビット脱塩塔を経由した燃料取替用水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ビット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.17.8m                      周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：55分                      操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行ふ弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 17.8m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行ふ弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P. 17.8m（中間床）)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ビット脱塩塔を経由した燃料取替用水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ビット                      補給ライン系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>添付資料1.13.13にて比較</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                  No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数：1名/ユニット                  操作時間(想定)：50分                  操作時間(実績)：38分(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 操作の成立性                  アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                  操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="414 986 703 1206" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピット                  補給ライン系統構成                  (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p>2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                  2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 24.8m, T.P. 10.3m (中間床)                  原子炉補助建屋 T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数：1名                  操作時間(想定)：65分                  操作時間(訓練実績等)：42分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1355 1007 1675 1251" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピット                  補給ライン系統構成                  (周辺補機棟 T.P. 10.3m (中間床))</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                  No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ビットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数：3名/ユニット                  作業時間（想定）：45分                  作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                  アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした                  電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</p> <p>1. 作業概要                  ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ビットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所                  周辺補機棟 T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数：1名                  作業時間（想定）：30分                  作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。</p> <p>作業性：消防ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉				相違理由
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	消防ホース敷設箇所				
3号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	
4号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	屋内消火栓（HC-64）～ 燃料取替用水ピット	約10m	65A	1本	
 <p>① 消火栓接続口（常時接続）</p>  <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p>  <p>③ 可搬型ホース（40A）接続口</p>  <p>④ 可搬型ホース（40A）接続後</p>  <p>⑤ 燃料取替用水ピット入口扉</p>					 <p>消火ポンプ起動                      (周辺補機棟 T.P. 40.3m)</p>  <p>消火栓接続口（常時接続）</p>  <p>消防ホース（40A）接続前</p>  <p>消防ホース（40A）接続後</p>  <p>ろ過水タンクによる補給                      (周辺補機棟 T.P. 40.3m)</p>				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.10.3m        屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1131 188 1899 288" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1391 360 1637 549" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1205 632 1458 820" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1570 632 1823 820" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1205 903 1458 1091" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入（屋外）</p> <div data-bbox="1563 895 1832 1099" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m 接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							





1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                  原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 40分                  操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから，建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また，アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また，作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり，事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し，防護具（全面マスク，個人線量計，ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり，容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも，携行型通話装置を使用し，確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1357 967 1675 1209" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ビットへの補給                  系統構成                  (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要                  2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所                  屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数 : 3名                  作業時間（想定） : 180分                  作業時間（訓練実績等）：135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                  移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性 : 可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.33.1m        屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ビットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間（想定） : 40分        操作時間（訓練実績等）: 14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1355 965 1675 1209" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから        補助給水ピットへの補給系統構成        (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要        海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟 T.P. 33. 1m, T.P. 10. 3m        屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 194 1883 427"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 497 1451 687"> <p data-bbox="1153 699 1500 767">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1563 497 1825 687"> <p data-bbox="1518 699 1865 767">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 783 1451 973"> <p data-bbox="1198 991 1458 1011">可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1563 783 1825 973"> <p data-bbox="1563 991 1823 1011">可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 1054 1451 1244"> <p data-bbox="1198 1257 1458 1326">可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1563 1054 1825 1244"> <p data-bbox="1547 1257 1841 1303">海水取水箇所への水中ポンプ設置 （屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統											
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ 可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統											

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                  海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 40分                  操作時間（訓練実績等）: 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1357 967 1675 1209" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ビットへの補給                  系統構成                  (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p><b>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</b></p> <p>1. 作業概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>② ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p><b>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</b></p> <p>1. 操作概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に際する手順等</p> <p>(6) 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p style="padding-left: 20px;">インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による1次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約30m<sup>3</sup>/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <p style="text-align: center;">【比較のため高浜3 / 4号炉の添付資料 1.13.9の抜粋を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p style="padding-left: 20px;">原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p style="padding-left: 20px;">格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約30m<sup>3</sup>/h）である1次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】 設備名称の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由			
添付資料 1.13.10		添付資料1.13.21-(1)					
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表		水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)					
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文			1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		
	番号	手順名称	番号		手順名称		
	復水ビットへの供給に係る手順等	復水ビットからNo. 3 淡水タンクへの水源切替	1.13 本条文中整備		1.1	ほう水注入	
		A、B 2次系純水タンクからNo. 3 淡水タンクへの補給	1.13 本条文中整備		1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	
		復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	1.2 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水		1.3	1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バランダリでの減圧	
		1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2 1次冷却系のフィードアンドブリード		燃料取替用水ビットを水源とした原子炉格納容器への注水	充てんポンプによる原子炉格納容器への注水	
		No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給	1.13 本条文中整備			1.4	日一格納容器スプレイポンプ（BOHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉格納容器への注水
		No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	1.13 本条文中整備			1.4	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水
		海水を用いた復水ビットへの補給	1.13 本条文中整備			1.4	日一充てんポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器への注水
						1.4	日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（BOHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉格納容器への注水
			1.4	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却			
			1.8	高圧注入ポンプによる原子炉格納容器への注水			
		1.8	燃料取替用水ビットからの重力注水による原子炉格納容器への注水				
		1.8	余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水				
		1.8	高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水				
		1.6	充てんポンプによる原子炉格納容器への注水				
		1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ				
		1.7	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ				
		1.8	日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ				
		1.8	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水				
		1.11	燃料取替用水ビットを水源とした使用済燃料ビットへの注水				
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水	燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13 本条文中整備	1.1	補助給水ビットを水源とした発電用原子炉を本稼働にするための蒸気発生器への注水			
	燃料取替用水ビットからNo. 2 淡水タンクへの水源切替	1.4 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	1.2	原子炉出力調整（自動）			
	燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	1.13 本条文中整備	1.2	原子炉出力調整（手動）			
	燃料取替用水ビットから海水への水源切替	1.4 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	1.3	S6直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水			
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	1.13 本条文中整備	1.4	電熱補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13 本条文中整備	1.4	現用手動操作によるタービン駆動補助給水ポンプの機能回復			
	1次系純水タンクから使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給	1.13 本条文中整備	1.4	代替交流電源設備による電熱補助給水ポンプの機能回復			
	No. 3 淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給	1.13 本条文中整備	1.4	電熱補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	1.13 本条文中整備	1.5	S6直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水			
	復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	1.13 本条文中整備	1.5	電熱補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
ろ過タンク対応注水とした	ろ過タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バランダリ低圧時の原子炉格納容器への注水	1.4	電熱機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器への注水				
	ろ過タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	電熱機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ				
	ろ過タンクを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	電熱機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ				
	ろ過タンクを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	電熱機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水				
	ろ過タンクを水源とした使用済燃料ビットへの注水	1.11	電熱機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ビットへの注水				

記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・各手段構成の相違による相違。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉			相違理由
1.13 手順名称			水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (2/5)			
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		
	番号	手順名称		番号	手順名称	
格納容器スプレイへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	1.2	代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	添付資料1.13.21-(2)
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中整備	1.3	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備	1.4	代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備	1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備	1.5	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備	1.6	代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備	1.7	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備	1.7	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	
				1.8	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	
格納容器とした再循環運転に係る手順等	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.11	代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ	記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違
	A格納容器スプレイポンプ (RHR S-C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	1.4	A格納容器スプレイポンプ (RHR S-C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	1.12	代替給水ピットを水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	
	B高圧注入ポンプ (海水冷却)、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転	1.4	B高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	1.2	原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	
	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転	1.4	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転	1.3	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.4	原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (屋内消火栓) No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (屋外消火栓)	1.4	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.5	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.6	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.7	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.8	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	
			1.11	原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ		
			1.12	原水槽を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
1.13 手順名称		添付資料1.13.21-(3)			
発用時 貯蔵槽内燃料体等 へのスプレ イ 及び 貯蔵槽内燃料体等 へのスプレ イ 及び 貯蔵槽内燃料体等 へのスプレ イ	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレ	1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレ	記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・各手段構成の相 違による相違	
		1.12	送水車及びスプレヘッダによる大気への拡散抑制		
	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水		
		1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制		
炉心の著しい損傷及び格納容器の 破損時の格納容器及びアンニラス部 への放水に係る手順等	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアンニラス部への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制		
詳細手順を整備する条文		水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（3/5）			
1.13 手順名称		1.13 手順名称			
水1 次系 純水 タンク を水 源と した 使用 済燃 料ピ ット への 注水		1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
水2 次系 純水 タンク を水 源と した 使用 済燃 料ピ ット への 注水		1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水		
脱気 器タ ンク を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ 高圧 時の 蒸気 発生 器へ の注 水		1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水		
脱気 器タ ンク を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ を減 圧す るた めの 蒸気 発生 器へ の注 水		1.3	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水		
脱気 器タ ンク を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ 低圧 時の 蒸気 発生 器へ の注 水		1.4	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水		
脱気 器タ ンク を水 源と した 最終 ヒー トシ ンク へ熱 を輸 送す るた めの 蒸気 発生 器へ の注 水		1.5	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水		
海水 を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ 高圧 時の 蒸気 発生 器へ の注 水		1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水		
海水 を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ を減 圧す るた めの 蒸気 発生 器へ の注 水		1.3	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水		
海水 を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ 低圧 時の 蒸気 発生 器へ の注 水		1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水		
海水 を水 源と した 原子 炉冷 却材 圧カ パン ダリ 低圧 時の 蒸気 発生 器へ の注 水		1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水		
海水 を水 源と した 最終 ヒー トシ ンク へ熱 を輸 送す るた めの 蒸気 発生 器へ の注 水		1.5	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフイードアンドブリード		
海水 を水 源と した 原子 炉格 納容 器内 の冷 却		1.6	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレ		
海水 を水 源と した 原子 炉格 納容 器内 の除 熱		1.7	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレ		
海水 を水 源と した 原子 炉格 納容 器下 部へ の注 水		1.8	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水		
海水 を水 源と した 使用 済燃 料ピ ット への 注水 /ス プレ イ		1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレ		
海水 を水 源と した 原子 炉補 機冷 却水 ポン プ及 び原 子 炉補 機冷 却水 ポン プに よる 補機 冷 却水 確保		1.5	原子炉補機冷却水ポンプ及び原子炉補機冷却水ポンプによる補機冷却水確保		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
	添付資料1.13.21-(4)																																																								
	水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表（4/5）																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 287 1534 319">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1534 287 1937 319">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th data-bbox="1534 319 1579 343">番号</th> <th data-bbox="1579 319 1937 343">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1086 343 1176 550" rowspan="4">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td data-bbox="1176 343 1534 367"></td> <td data-bbox="1534 343 1579 367">1.5</td> <td data-bbox="1579 343 1937 367">可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 367 1534 454">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td data-bbox="1534 367 1579 454">1.5</td> <td data-bbox="1579 367 1937 454">可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替貯蔵冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 454 1534 518">海を水源とした大気への放射性物質の長散抑制</td> <td data-bbox="1534 454 1579 518">1.12</td> <td data-bbox="1579 454 1937 518">可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水給による大気への放射性物質の長散抑制 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の長散抑制</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 518 1534 550">海を水源とした航空機燃料火災への消火</td> <td data-bbox="1534 518 1579 550">1.12</td> <td data-bbox="1579 518 1937 550">可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水給及び海面合設給による航空機燃料火災への消火</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 550 1176 670">水源ほうし階段タンク対応手順</td> <td data-bbox="1176 550 1534 670">ほう階段タンクを水源とした常電用原子炉を本臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入</td> <td data-bbox="1534 550 1579 670">1.1</td> <td data-bbox="1579 550 1937 670">ほう酸水注入</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 670 1176 813" rowspan="3">格納容器と併し再した循環対応手順</td> <td data-bbox="1176 670 1534 710">格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転</td> <td data-bbox="1534 670 1579 710">1.4</td> <td data-bbox="1579 670 1937 710">高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 710 1534 750">格納容器再循環サンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転</td> <td data-bbox="1534 710 1579 750">1.6</td> <td data-bbox="1579 710 1937 750">格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 750 1534 813">格納容器再循環サンプを水源とした代替再循環運転</td> <td data-bbox="1534 750 1579 813">1.4</td> <td data-bbox="1579 750 1937 813">B-格納容器スプレイポンプ（RIBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 813 1176 941" rowspan="4">燃料取水ポンプ対応手順</td> <td data-bbox="1176 813 1534 837">可搬型大型送水ポンプ車による燃料取水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 813 1579 837">1.13</td> <td data-bbox="1579 813 1937 837">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 837 1534 861">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 837 1579 861">1.13</td> <td data-bbox="1579 837 1937 861">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 861 1534 885">1次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 861 1579 885">1.13</td> <td data-bbox="1579 861 1937 885">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 885 1534 909">2次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 885 1579 909">1.13</td> <td data-bbox="1579 885 1937 909">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 941 1176 1045" rowspan="2">水圧を補助給水ポンプ対応手順</td> <td data-bbox="1176 941 1534 997">可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 941 1579 997">1.13</td> <td data-bbox="1579 941 1937 997">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 997 1534 1045">2次系補給水ポンプによる補助給水ポンプへの補給</td> <td data-bbox="1534 997 1579 1045">1.13</td> <td data-bbox="1579 997 1937 1045">本条文中整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却		1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替貯蔵冷却	海を水源とした大気への放射性物質の長散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水給による大気への放射性物質の長散抑制 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の長散抑制	海を水源とした航空機燃料火災への消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水給及び海面合設給による航空機燃料火災への消火	水源ほうし階段タンク対応手順	ほう階段タンクを水源とした常電用原子炉を本臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入	格納容器と併し再した循環対応手順	格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	格納容器再循環サンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	格納容器再循環サンプを水源とした代替再循環運転	1.4	B-格納容器スプレイポンプ（RIBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	燃料取水ポンプ対応手順	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	1次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	水圧を補助給水ポンプ対応手順	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる補助給水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備	<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																							
		番号	手順名称																																																						
海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却		1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																						
	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）通水 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替貯蔵冷却																																																						
	海を水源とした大気への放射性物質の長散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水給による大気への放射性物質の長散抑制 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の長散抑制																																																						
	海を水源とした航空機燃料火災への消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水給及び海面合設給による航空機燃料火災への消火																																																						
水源ほうし階段タンク対応手順	ほう階段タンクを水源とした常電用原子炉を本臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入																																																						
格納容器と併し再した循環対応手順	格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																																						
	格納容器再循環サンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ																																																						
	格納容器再循環サンプを水源とした代替再循環運転	1.4	B-格納容器スプレイポンプ（RIBS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転																																																						
燃料取水ポンプ対応手順	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	1次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる燃料取水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
水圧を補助給水ポンプ対応手順	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる補助給水ポンプへの補給	1.13	本条文中整備																																																						



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.21-(5)</p> <p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (5/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="1093 280 1541 312">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1541 280 1944 312">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <td></td> <th data-bbox="1541 312 1590 328">番号</th> <th data-bbox="1590 312 1944 328">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1093 328 1182 440">水の補給水タンクへの対応手順のため</td> <td data-bbox="1182 328 1541 440">2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給</td> <td data-bbox="1541 328 1590 440">1.13</td> <td data-bbox="1590 328 1944 440">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 440 1182 584">燃料補給管切替用水ピット（ト）からの</td> <td data-bbox="1182 440 1541 512">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td data-bbox="1541 440 1590 512">1.13</td> <td data-bbox="1590 440 1944 512">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 512 1182 584">燃料補給管切替用水ピット（ト）からの</td> <td data-bbox="1182 512 1541 584">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</td> <td data-bbox="1541 512 1590 584">1.13</td> <td data-bbox="1590 512 1944 584">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 584 1182 743">ほう酸タンクへの切替え</td> <td data-bbox="1182 584 1541 743">燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td data-bbox="1541 584 1590 743">1.13</td> <td data-bbox="1590 584 1944 743">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 743 1182 903">電動補助給水ポンプの切替え</td> <td data-bbox="1182 743 1541 903">電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水脈の切替え</td> <td data-bbox="1541 743 1590 903">1.13</td> <td data-bbox="1590 743 1944 903">本文中で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文			番号	手順名称	水の補給水タンクへの対応手順のため	2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給	1.13	本文中で整備	燃料補給管切替用水ピット（ト）からの	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文中で整備	燃料補給管切替用水ピット（ト）からの	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	1.13	本文中で整備	ほう酸タンクへの切替え	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	1.13	本文中で整備	電動補助給水ポンプの切替え	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水脈の切替え	1.13	本文中で整備	<p style="text-align: center;">記載方針の相違                      （女川審査実績の反映）                      ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文																											
	番号	手順名称																										
水の補給水タンクへの対応手順のため	2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給	1.13	本文中で整備																									
燃料補給管切替用水ピット（ト）からの	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文中で整備																									
燃料補給管切替用水ピット（ト）からの	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	1.13	本文中で整備																									
ほう酸タンクへの切替え	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	1.13	本文中で整備																									
電動補助給水ポンプの切替え	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水脈の切替え	1.13	本文中で整備																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉					泊発電所3号炉					相違理由		
添付資料 1.13.11-(1)					添付資料1.13.22-(1)							
各タンク等配置図及び仕様					各タンク等配置図及び仕様							
<p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、原子炉容器への注水、原子炉格納容器内への注水・スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>記載内容の相違                  ・基礎改正による相違                  記載表現の相違                  （女川審査実績の反映）</p> <p>設備の相違（相違理由④⑥）</p>		
タンク等名称	容量	分類	用途		タンク等名称	容量	分類	用途				
			SA時	通常時				SA時	通常時			
1 No. 2淡水タンク※	8,000m <sup>3</sup>	淡水	・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給	1 A-ろ過水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給			
2 No. 3淡水タンク※		2次系純水	・蒸気発生器注水 ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給	2 B-ろ過水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・原水槽補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給			
3 A 2次系純水タンク	8,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・No. 3淡水タンク補給	・2次系補給水供給	3 A-2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・原水槽補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給			
4 B 2次系純水タンク								4 B-2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・原水槽補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給
5 3号炉 脱気器タンク	約600m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水	5 脱気器タンク	約100m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水			
6 4号炉 脱気器タンク								6 1次系純水タンク	約300m <sup>3</sup>	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
7 A 1次系純水タンク	328m <sup>3</sup>	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給	7 A-ほう酸タンク	約10m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給			
8 B 1次系純水タンク								8 B-ほう酸タンク	約10m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
9 3号炉 Aほう酸タンク	約100m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	9 燃料取替用水ピット	約2,000m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・格納容器スプレー、 代替格納容器スプレー ・使用済燃料ピット注水	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給			
10 3号炉 Bほう酸タンク								10 補助給水ピット	約600m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・格納容器下部注水 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー	・蒸気発生器注水
11 4号炉 Aほう酸タンク												
12 4号炉 Bほう酸タンク					11 A-原水槽	約5,000m <sup>3</sup>	淡水	・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給			
13 3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	12 B-原水槽	約5000m <sup>3</sup>	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給			
14 4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m <sup>3</sup>											
15 3号炉 復水ピット	約1,200m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水	13 代替給水ピット	約473m <sup>3</sup>	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	—			
16 4号炉 復水ピット												

※1号炉および2号炉建設時にNo.1～3淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2、3淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規制基準下の溢水対策として現在の運用としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 300px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 250px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -20px; left: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;">各タンク等配置図及び仕様（2 / 4）</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin: 10px auto; font-size: 8px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 300px; margin: 0 auto; border: 2px solid yellow;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 350px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin: 10px auto; font-size: 8px;">                     枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p style="color: red; text-align: center;">設備の相違（相違理由④⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(4)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">各タンク等配置図及び仕様（3/4）</div> <div style="border: 2px solid black; height: 250px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> <div style="border: 2px solid black; height: 350px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div>	
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(5)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">各タンク等配置図及び仕様（4/4）</div> <div style="border: 2px solid black; height: 250px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<div style="border: 2px solid black; height: 350px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 30px; height: 15px; display: inline-block; margin: 10px auto;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p>添付資料 1.13.12-(1)</p> <p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p> <table border="1" data-bbox="136 536 981 699"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<p>添付資料1.13.23-(1)</p> <p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順等のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び原子炉容器への注水、原子炉格納容器内へのスプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。                  原水槽、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p> <table border="1" data-bbox="1084 555 1939 1027"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td rowspan="4">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>ブランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>2次ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>ブランジ接続</td> <td rowspan="3">1.13-8-(1) 1.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="4">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="3">1.13-16</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	ブランジ接続	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次ろ過水タンクと可搬型ホース接続	ブランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続	結合金具接続	南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続	結合金具接続	1.13-16	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	差込み式		<p>記載内容の相違                  ・基準改正による相違</p> <p>設備の相違                  ・大飯3/4号炉は、No. 2 淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。                  ・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p>
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																															
No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																															
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																															
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																															
No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																															
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																															
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																															
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																																
	可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続	結合金具接続																																																																
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	ブランジ接続																																																																
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次ろ過水タンクと可搬型ホース接続	ブランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)																																																															
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																																
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																																
南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																															
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																																
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																																
	可搬型ホースとT.P.10a東側接続口接続	結合金具接続																																																																
南を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33a西側接続口接続	結合金具接続	1.13-16																																																															
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																																
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																																
ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	差込み式																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

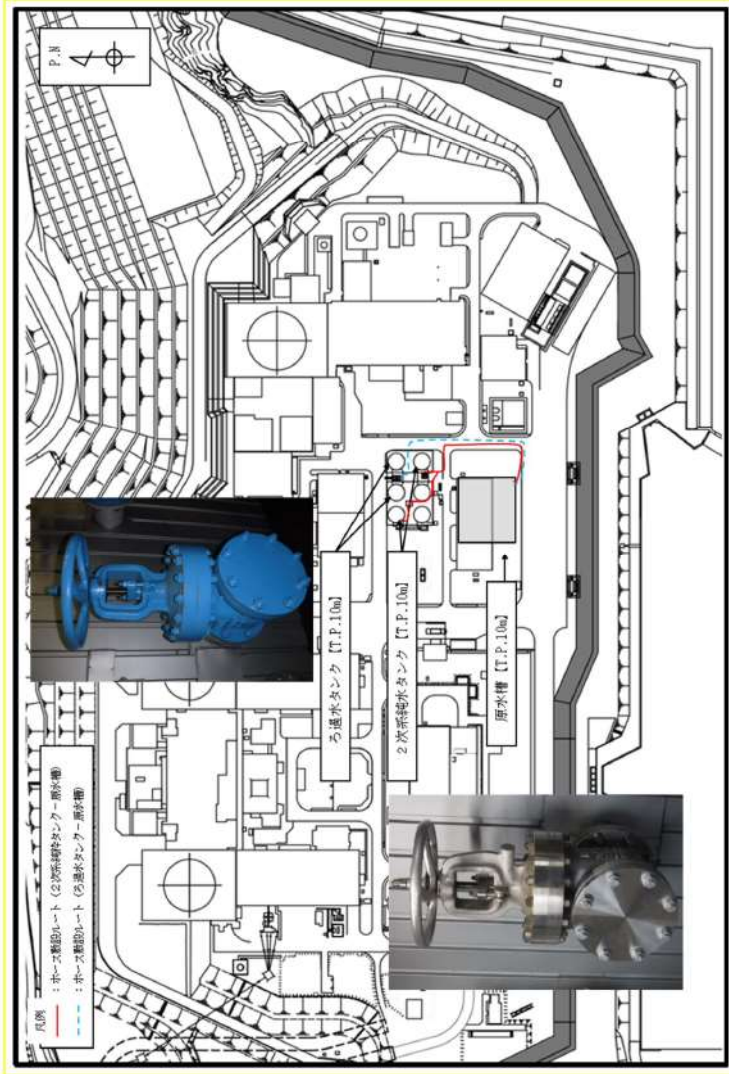
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</p> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</p> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)</p> <div data-bbox="1238 256 1787 1358" style="border: 2px solid black; margin: 20px auto; width: 245px; height: 690px;"></div> <div data-bbox="1373 1410 1944 1436" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;">                     枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</p> 	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 400px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">    </span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 400px;"></div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-size: 2em; font-weight: bold;">比較対象なし</div> </div> <p style="position: absolute; top: 10%; left: 10%; transform: rotate(-90deg); font-size: 0.8em;">可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給</p> <p style="position: absolute; top: 10%; right: 10%; transform: rotate(-90deg); font-size: 0.8em;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">比較対象なし</p>	<p style="color: red; font-size: 0.8em;">設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.12-(3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); opacity: 0.5;">                 可搬型ホース接続口配置図                  3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1/2)             </div> <div style="position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translate(0, -50%); font-size: small;">                 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。             </div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(7)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); opacity: 0.5;">                 海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/3)             </div> <div style="position: absolute; bottom: 10px; right: 10px; font-size: small;">                 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。             </div> </div>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.12-(4)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 680px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 (2/2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 450px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 5px;">                 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。             </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(8)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給(2/3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 240px; height: 680px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid yellow; width: 240px; height: 680px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 15px; margin: 10px auto; text-align: center;">                 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。             </div>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(9)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(3/3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 600px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。         </p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(5)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>可搬型ホース接続口配置図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1/2)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; margin: 10px auto;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(6)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; padding: 10px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">可搬型ホース接続口配置図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2 / 2）</p> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">比較対象なし</div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.12-(7)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);"> <p>可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p> </div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(10)</p> <p style="text-align: center; color: green;">ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%;"></div> <div style="border: 2px solid yellow; width: 80%; height: 80%; margin: 2px;"></div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。         </p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.13</p> <p style="text-align: center;">復水ビットへの海水補給手段の多重性について</p> <p>復水ビットへの海水補給については、復水ビット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。具体的な補給手段について、以下に記載する。</p> <p>1. 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの復水ビット補給              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインに可搬型ホースを接続することで、復水ビット入口扉にアクセスすることなく復水ビットへの補給を実施する。              なお、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインについては、設計基準地震動により機能を喪失しない設計とする。</p> <div data-bbox="250 555 860 735" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 作業時間について              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの補給作業時間については、復水ビット入口扉よりアクセスし補給する場合と同じ約3.4時間と想定しており、有効性評価における復水ビットを水源とするタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の復水ビット枯渇までの約18.7時間までに補給が可能であり、注水を継続することができる。              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所（3号炉の例）を「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について」に示す。</p>	<div data-bbox="1384 762 1637 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。</li> <li>・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="353 148 806 193">蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について（3号炉の例）</p> <div data-bbox="136 209 985 679" style="border: 2px solid black; height: 295px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="414 687 981 715" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="1384 762 1637 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p data-bbox="2000 427 2136 480">設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="2000 485 2136 887">・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。</li> <li data-bbox="2000 892 2136 1118">・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。</li> </ul>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉比較対象なし</p> <p style="text-align: center; margin-top: 100px;">【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">弁番号及び弁名称一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P13-F041</td> <td>復水貯蔵タンク外部注水入口弁</td> <td>CST 連絡トレンチ/バルブ室</td> </tr> <tr> <td>F70-D001-1</td> <td>復水貯蔵タンク補給弁</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-300</td> <td>ろ過水タンク非常用接続停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>FW-V-301</td> <td>ろ過水タンク非常用戻り側接続停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table> </div>	弁番号	弁名称	操作場所	P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室	F70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外	FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続停止弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続停止弁（大容量送水ポンプ用）	屋外	<p style="text-align: center;">2. 弁番号及び弁名称一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3V-RF-102</td><td>ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.40.3a</td></tr> <tr><td>3V-RF-100</td><td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.40.3a</td></tr> <tr><td>3V-RF-101</td><td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.40.3a</td></tr> <tr><td>3V-FW-664</td><td>R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-FW-663</td><td>補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-104A</td><td>A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-104B</td><td>B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-112</td><td>使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-114A</td><td>A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-114B</td><td>B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-127A</td><td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-SF-127B</td><td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-CS-050</td><td>脱塩塔補給水止め弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-RC-073</td><td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-RC-097</td><td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-WL-031</td><td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-SF-059A</td><td>A-使用済燃料ビット補給弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3V-SF-059B</td><td>B-使用済燃料ビット補給弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3V-SF-047</td><td>使用済燃料ビット脱塩水補給弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3V-CS-548</td><td>ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3V-CS-551</td><td>ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3FCV-223A</td><td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3FCV-220A</td><td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-FW-661</td><td>補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-FW-662</td><td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-FW-630</td><td>補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁</td><td>周辺補機棟T.P.24.8a</td></tr> <tr><td>V-WF-905A</td><td>A-ろ過水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-WF-905B</td><td>B-ろ過水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-WF-952A</td><td>A-2次系純水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>V-WF-952B</td><td>B-2次系純水タンク排水弁</td><td>屋外</td></tr> <tr><td>3V-RH-100</td><td>B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td><td>原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)</td></tr> <tr><td>3V-CP-147</td><td>代替格納容器スプレイポンプ出口仰心注水用絞り弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a</td></tr> <tr><td>3V-CP-132</td><td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-CP-135</td><td>代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁</td><td>周辺補機棟T.P.17.8a</td></tr> <tr><td>3V-CP-144</td><td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td><td>原子炉補助建屋T.P.10.3a</td></tr> <tr><td>3V-CP-141</td><td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a</td></tr> <tr><td>3V-CP-013B</td><td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3FCV-220B</td><td>体積制御タンク出口側補給弁</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3LCV-121D</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3LCV-121E</td><td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B</td><td>中央制御室</td></tr> <tr><td>3V-FW-608B</td><td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a</td></tr> <tr><td>3V-FW-608A</td><td>A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td><td>周辺補機棟T.P.10.3a</td></tr> <tr><td>3V-FW-601</td><td>補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁</td><td>周辺補機棟T.P.24.8a</td></tr> <tr><td>3V-FW-604</td><td>補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td><td>周辺補機棟T.P.24.8a</td></tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a	3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a	3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a	3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a	3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室	3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室	3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室	3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)	3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)	3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)	3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)	3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)	3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室	3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室	3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T.P.24.8a	V-WF-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-WF-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外	V-WF-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外	V-WF-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外	3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)	3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口仰心注水用絞り弁	周辺補機棟T.P.10.3a	3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T.P.17.8a	3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a	3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T.P.10.3a	3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室	3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室	3LCV-121D	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室	3LCV-121E	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室	3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P.10.3a	3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P.10.3a	3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P.24.8a	3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P.24.8a	<p style="text-align: center;">記載方針の相違                  （女川審査実績の                  反映）</p> <p style="text-align: center;">【女川】                  設備の相違による                  対応手段の相違</p>
	弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																					
P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室																																																																																																																																																						
F70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外																																																																																																																																																						
FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続停止弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																						
FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続停止弁（大容量送水ポンプ用）	屋外																																																																																																																																																						
弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																						
3V-RF-102	ECTトラックアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a																																																																																																																																																						
3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a																																																																																																																																																						
3V-RF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.40.3a																																																																																																																																																						
3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-127A	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-SF-127B	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3V-WL-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	周辺補機棟T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-FW-630	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	周辺補機棟T.P.24.8a																																																																																																																																																						
V-WF-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																						
V-WF-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																						
V-WF-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																						
V-WF-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外																																																																																																																																																						
3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	原子炉補助建屋T.P.10.3a (中間床)																																																																																																																																																						
3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口仰心注水用絞り弁	周辺補機棟T.P.10.3a																																																																																																																																																						
3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	周辺補機棟T.P.17.8a																																																																																																																																																						
3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T.P.10.3a																																																																																																																																																						
3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	周辺補機棟T.P.10.3a																																																																																																																																																						
3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室																																																																																																																																																						
3LCV-121D	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室																																																																																																																																																						
3LCV-121E	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室																																																																																																																																																						
3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P.10.3a																																																																																																																																																						
3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	周辺補機棟T.P.10.3a																																																																																																																																																						
3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P.24.8a																																																																																																																																																						
3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	周辺補機棟T.P.24.8a																																																																																																																																																						